

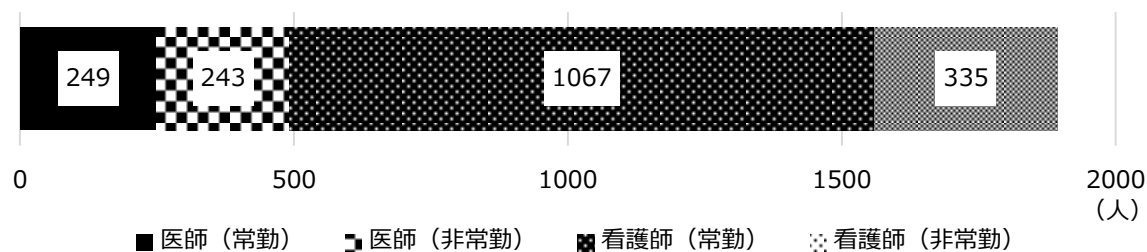
在宅医療に関するアンケート

- 1 調査対象：豊川市内の病院（12）・診療所（70）計 82 機関
- 2 調査期間：平成 29 年 9 月
- 3 回収数：82 機関（有効標本回収率：100%）
- 4 報告書の見方：
 - ・比率は、すべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が 100 にならないことがあります。
 - ・基数となるべき実数は、n（number of case の略）として掲載しました。本文中の比率は、すべて n を 100 として算出しています。
 - ・本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
 - ・自由回答やその他については、基本的に回答をそのまま表記しています。
 - ・平成 26 年 8 月に豊川市が行ったアンケートおよび平成 27 年 9 月、平成 28 年 9 月に本医師会が行ったアンケートと同項目については、比較として掲載しました。
 - ・平成 29 年 6 月以降に開院した診療所は、アンケート調査対象になっていません。

I 基本情報について

病院・診療所

1 職種別職員数（n=82）



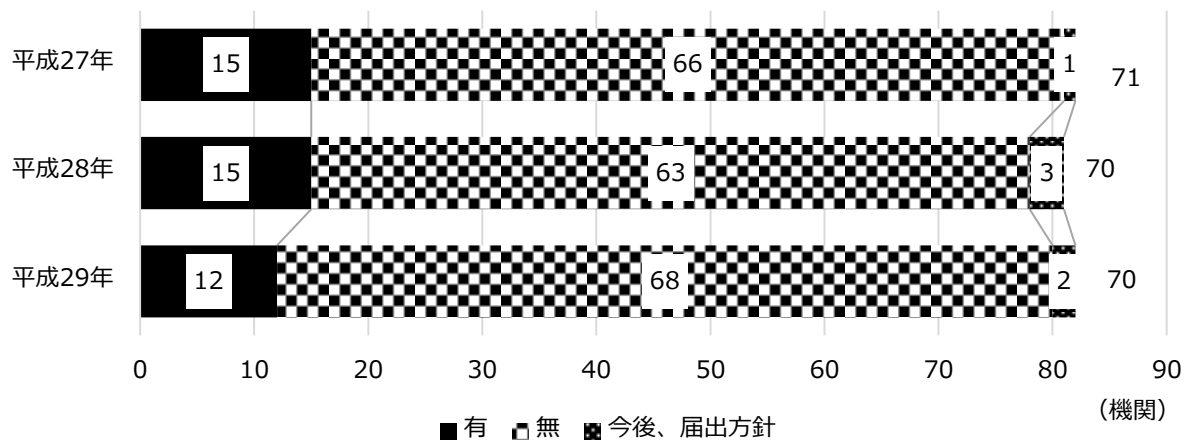
	医師（常勤）	医師（非常勤）	看護師（常勤）	看護師（非常勤）
平成29年	249	243	1067	335

Ⅱ 訪問診療及び往診について

病院・診療所

1 在宅療養支援診療所の届け出状況をお答えください。(n=82)

在宅療養支援診療所の届け出状況 平成27～29年の比較



平成29年

(機関)

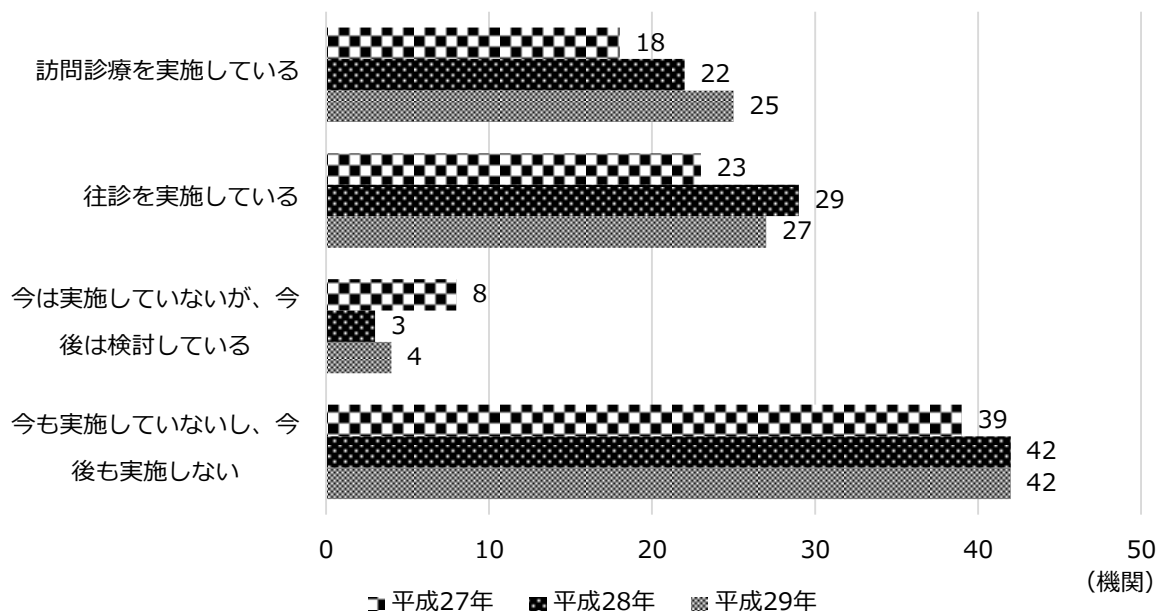
	東部	西部	南部	北部	合計
有	5 (21.7%)	4 (23.5%)	2 (9.1%)	1 (5.0%)	12 (14.6%)
無	17 (73.9%)	13 (76.5%)	19 (86.4%)	19 (95.0%)	68 (82.9%)
今後、届出方針	1 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)
合計	23 (100.0%)	17 (100.0%)	22 (100.0%)	20 (100.0%)	82 (100.0%)

(機関)

	平成27年	平成28年	平成29年
有	15 (18.3%)	15 (18.5%)	12 (14.6%)
無	66 (80.5%)	63 (77.8%)	68 (82.9%)
今後、届出方針	1 (1.2%)	3 (3.7%)	2 (2.4%)
合計	82 (100.0%)	81 (100.0%)	82 (100.0%)

2 訪問診療（往診）を実施していますか。

訪問診療（往診）の実施状況 平成26～29年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
訪問診療を実施している	7 (23.3%)	5 (26.3%)	7 (26.9%)	6 (26.1%)	25 (25.5%)
往診を実施している	8 (26.7%)	7 (36.8%)	7 (26.9%)	5 (21.7%)	27 (27.6%)
今は実施していないが、今後は検討している	1 (3.3%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	2 (8.7%)	4 (4.1%)
今も実施していないし、今後も実施しない	14 (46.7%)	7 (36.8%)	11 (42.3%)	10 (43.5%)	42 (42.9%)
合計	30 (100.0%)	19 (100.0%)	26 (100.0%)	23 (100.0%)	98 (100.0%)

(機関)

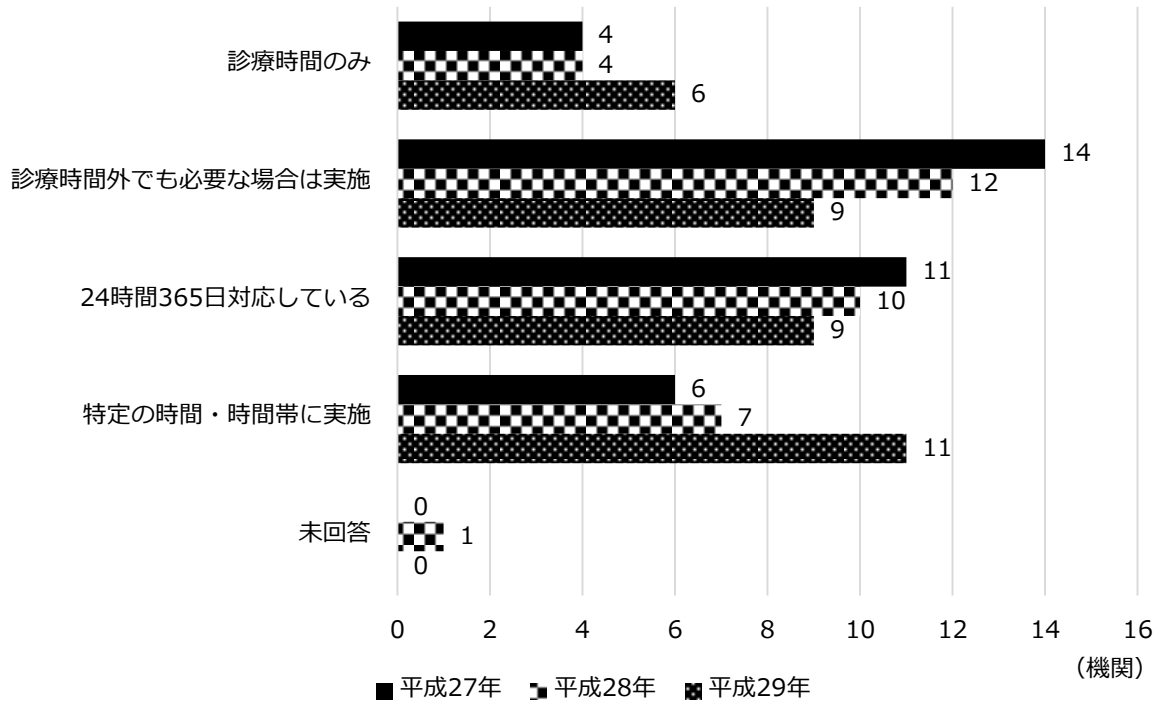
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
訪問診療を実施している	23 (40.4%)	18 (20.5%)	22 (22.9%)	25 (25.5%)
往診を実施している	23 (40.4%)	23 (26.1%)	29 (30.2%)	27 (27.6%)
今は実施していないが、今後は検討している	3 (5.3%)	8 (9.1%)	3 (3.1%)	4 (4.1%)
今も実施していないし、今後も実施しない	31 (54.4%)	39 (44.3%)	42 (43.8%)	42 (42.9%)
合計	57 (100.0%)	88 (100.0%)	96 (100.0%)	98 (100.0%)

※ 本設問は、単一回答ですが、複数回答された医療機関についても、そのまま集計しています。

尚、平成26年は訪問診療と往診が区別されていないので、グラフには反映していません。

3 実施時間はいつですか。(n=35)

訪問診療（往診）の実施時間 平成27～29年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
診療時間のみ	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (20.0%)	2 (25.0%)	6 (17.1%)
診療時間外でも必要な場合は実施	4 (44.4%)	1 (11.1%)	2 (20.0%)	2 (25.0%)	9 (25.7%)
24時間365日対応している	4 (44.4%)	2 (22.2%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	9 (25.7%)
特定の時間・時間帯に実施	0 (0.0%)	4 (44.4%)	3 (30.0%)	4 (50.0%)	11 (31.4%)
未回答	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	9 (100.0%)	9 (100.0%)	10 (100.0%)	8 (100.0%)	35 (100.0%)

(機関)

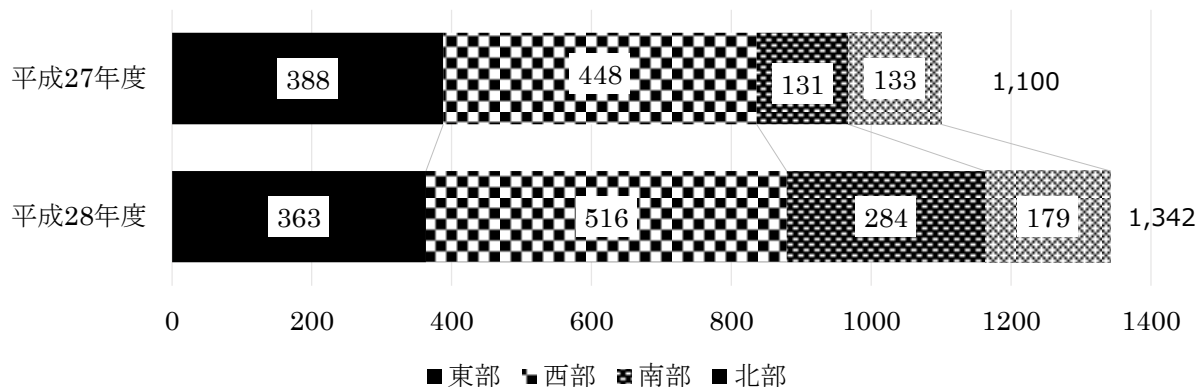
	平成27年	平成28年	平成29年
診療時間のみ	4 (11.4%)	4 (11.8%)	6 (17.1%)
診療時間外でも必要な場合は実施	14 (40.0%)	12 (35.3%)	9 (25.7%)
24時間365日対応している	11 (31.4%)	10 (29.4%)	9 (25.7%)
特定の時間・時間帯に実施	6 (17.1%)	7 (20.6%)	11 (31.4%)
未回答	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
合計	35 (100.0%)	34 (100.0%)	35 (100.0%)

平成29年のアンケートで「特定の時間・時間帯に実施」と回答された医療機関による自由意見

- ◆火曜 14時～16時
- ◆隔週木曜 13時～
- ◆水曜と土曜午後
- ◆火曜（午後）木曜（午前）
- ◆昼休み・診療後

4 訪問診療を実施した患者数は、平成28年度何人でしたか。(n=35)

訪問診療実施患者数 平成27、28年度の比較



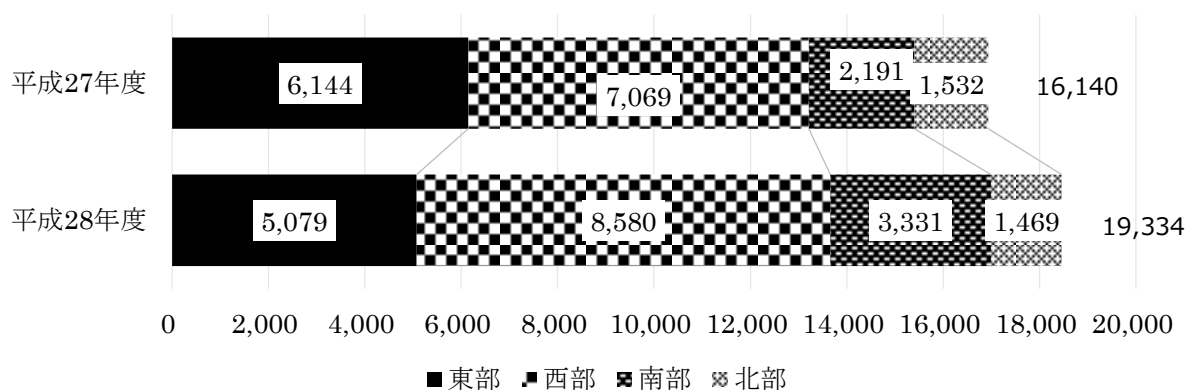
(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	388 (35.3%)	448 (40.7%)	131 (11.9%)	133 (12.1%)	1,100 (100.0%)
平成28年度	363 (27.0%)	516 (38.5%)	284 (21.2%)	179 (13.3%)	1,342 (100.0%)

II-2で「訪問診療を実施している」と回答された病院・診療所

5 訪問診療を実施した件数は、平成28年度何件ありましたか。(n=35)

訪問診療実施件数 平成27、28年度の比較

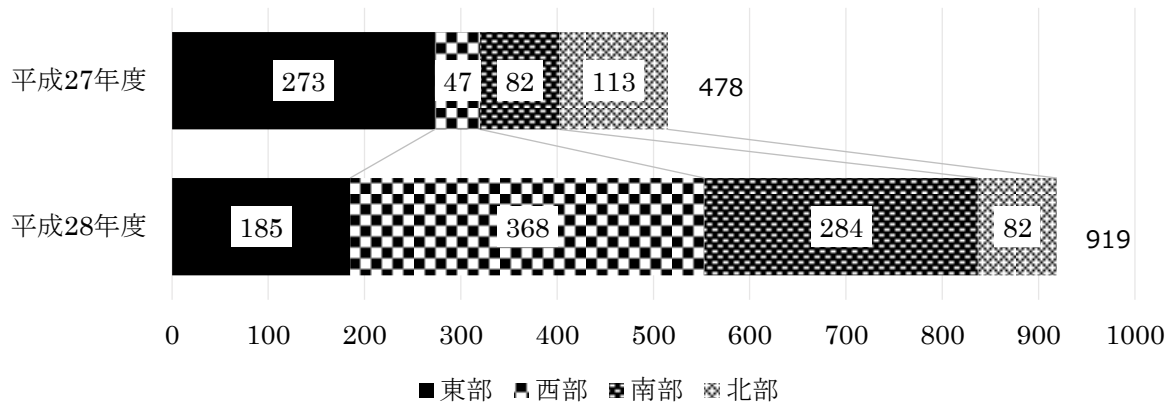


(回)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	6,144 (38.1%)	7,069 (43.8%)	2,191 (13.6%)	1,532 (9.5%)	16,140 (100.0%)
平成28年度	5,079 (26.3%)	8,580 (44.4%)	3,331 (17.2%)	1,469 (7.6%)	19,334 (100.0%)

6 往診を実施した患者数は、平成28年度何人でしたか。(n=35)

往診実施患者数 平成27、28年度の比較

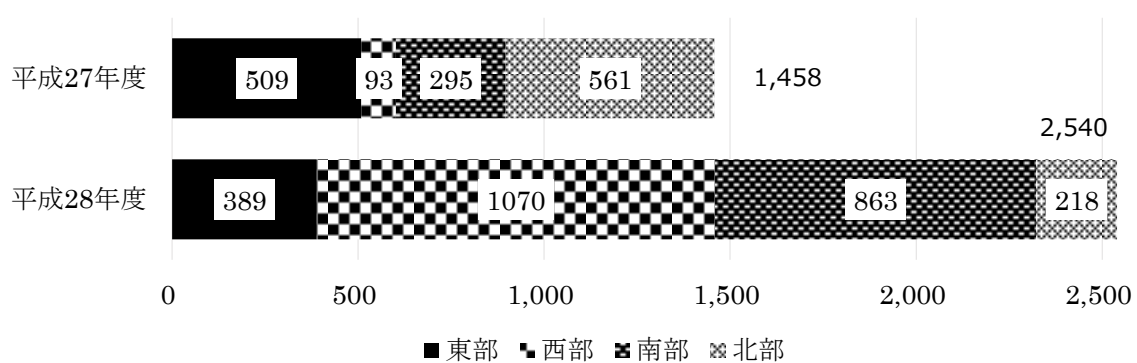


(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	273 (57.1%)	47 (9.8%)	82 (17.2%)	113 (23.6%)	478 (100.0%)
平成28年度	185 (20.1%)	368 (40.0%)	284 (30.9%)	82 (8.9%)	919 (100.0%)

7 往診を実施した件数は、平成28年度何件ありましたか。(n=35)

往診実施件数 平成27、28年度の比較

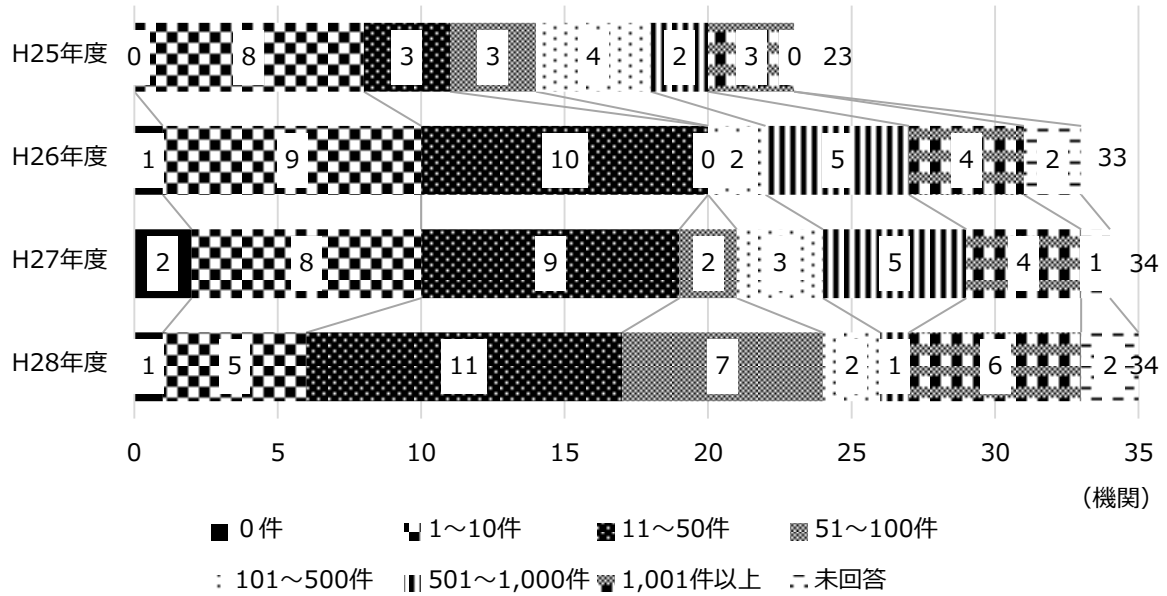


(回)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	509 (34.9%)	93 (6.4%)	295 (20.2%)	561 (38.5%)	1,458 (100.0%)
平成28年度	389 (15.3%)	1070 (42.1%)	863 (34.0%)	218 (8.6%)	2,540 (100.0%)

8 訪問診療及び往診の実施件数毎の医療機関状況 (n=35)

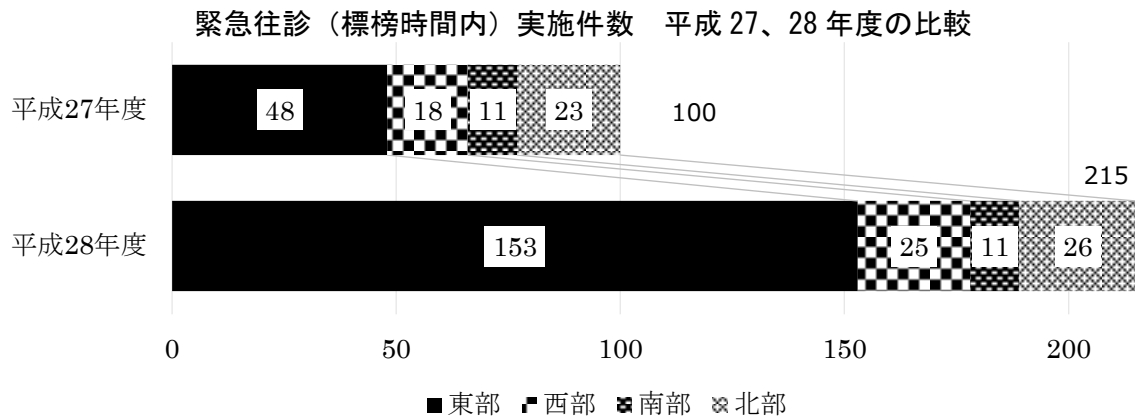
訪問診療及び往診の実施件数毎の医療機関状況 平成 25～28 年度の比較



(機関)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
0件	0 (0.0%)	1 (3.0%)	2 (5.9%)	1 (2.9%)
1~10件	8 (34.8%)	9 (27.3%)	8 (23.5%)	5 (14.3%)
11~50件	3 (13.0%)	10 (30.3%)	9 (26.5%)	11 (31.4%)
51~100件	3 (13.0%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	7 (20.0%)
101~500件	4 (17.4%)	2 (6.1%)	3 (8.8%)	2 (5.7%)
501~1,000件	2 (8.7%)	5 (15.2%)	5 (14.7%)	1 (2.9%)
1,001件以上	3 (13.0%)	4 (12.1%)	4 (11.8%)	6 (17.1%)
未回答	0 (0.0%)	2 (6.1%)	1 (2.9%)	2 (5.7%)
合計	23 (100.0%)	33 (100.0%)	34 (100.0%)	35 (100.0%)

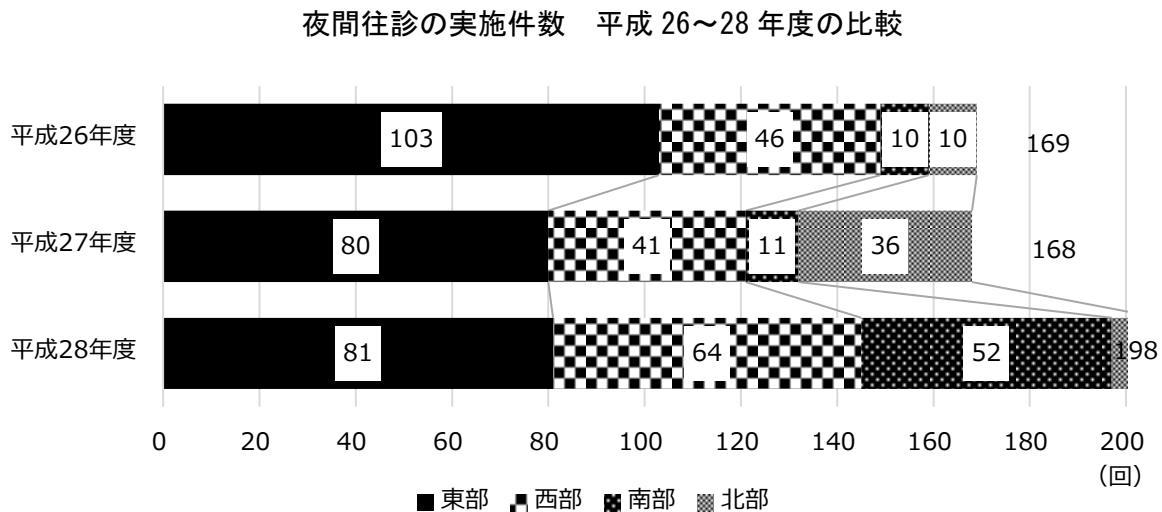
9 緊急往診（標榜時間内）を実施した件数は、平成28年度何件ありましたか。(n=35)



(回)

	東部		西部		南部		北部		合計	
平成27年度	48	48%	18	18%	11	11%	23	23%	100	100%
平成28年度	153	(71.2%)	25	12%	11	5%	26	12%	215	100%

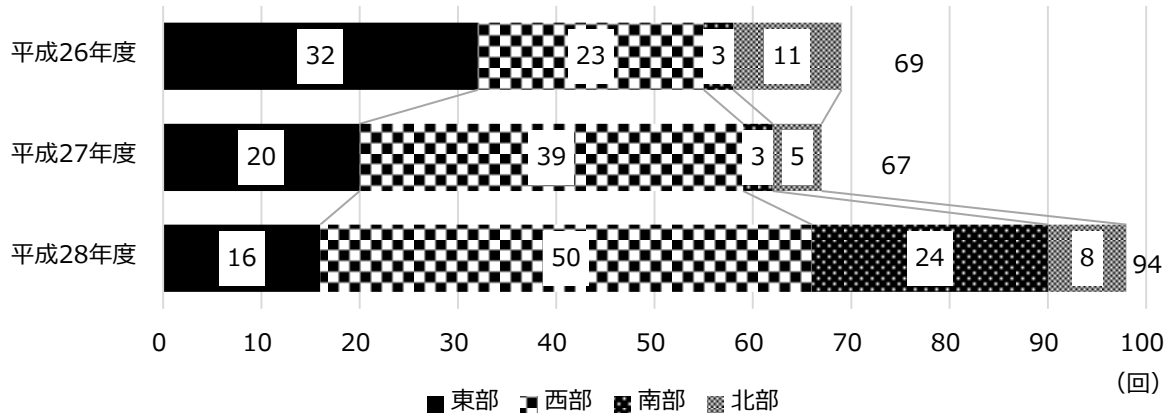
10 夜間往診及び深夜往診を実施した件数は平成28年度何件ありましたか。(n=35)



(回)

	東部		西部		南部		北部		合計	
平成26年度	103	(60.9%)	46	(27.2%)	10	(5.9%)	10	(5.9%)	169	(100.0%)
平成27年度	80	(47.6%)	41	(24.4%)	11	(6.5%)	36	(21.4%)	168	(100.0%)
平成28年度	81	(39.1%)	64	(30.9%)	52	(25.1%)	10	(4.8%)	207	(100.0%)

深夜往診の実施件数 平成 26～28 年度の比較



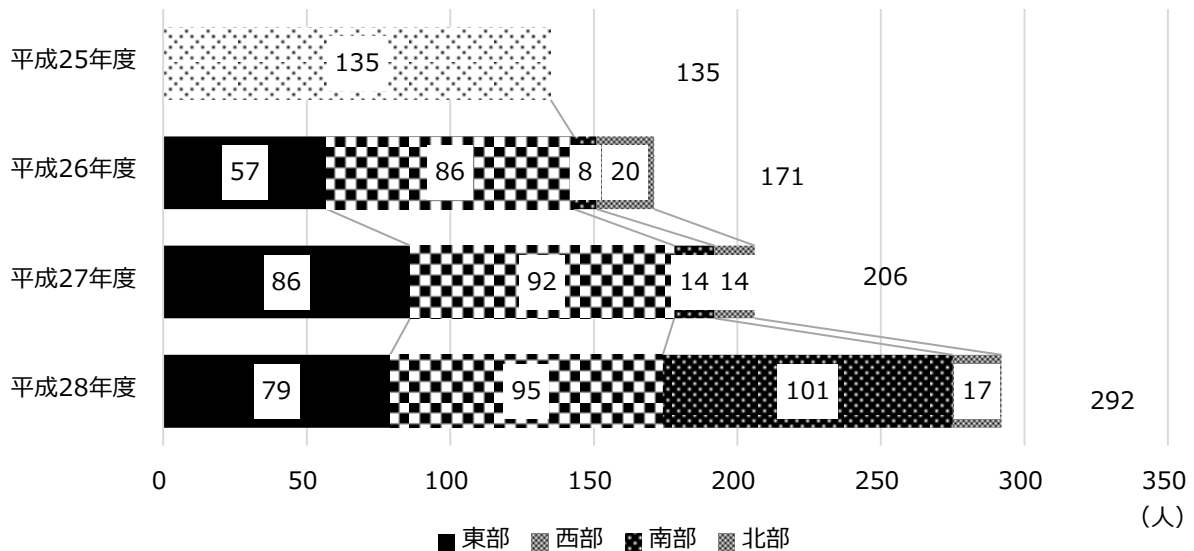
(回)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成26年度	32 (46.4%)	23 (33.3%)	3 (4.3%)	11 (15.9%)	69 (100.0%)
平成27年度	20 (29.9%)	39 (58.2%)	3 (4.5%)	5 (7.5%)	67 (100.0%)
平成28年度	16 (16.3%)	50 (51.0%)	24 (24.5%)	8 (8.2%)	98 (100.0%)

Ⅱ-2で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された病院・診療所

1.1 市内全体の看取り件数 (n=35)

市内全体の看取り件数 平成 25～28 年度の比較



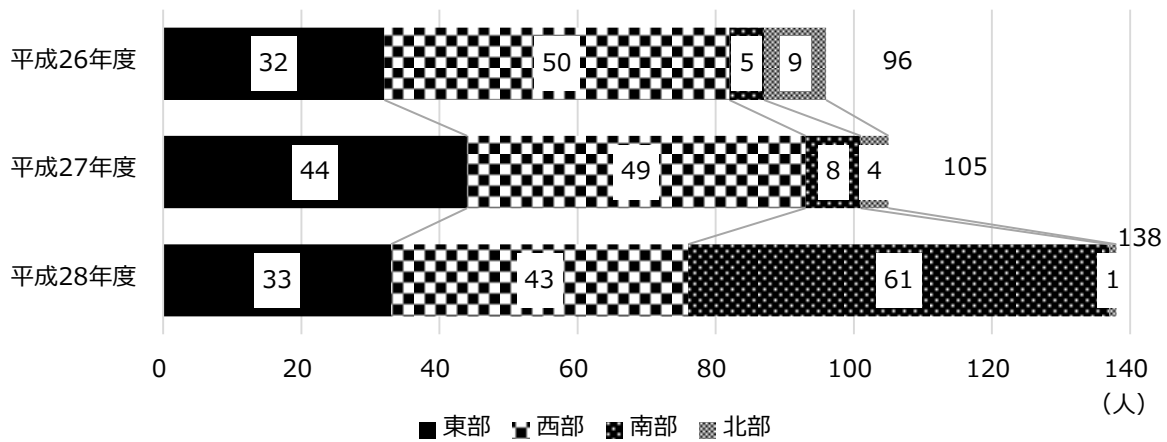
※同一建物居住者以外、同一建物居住者、検死、最期は病院で看取った人達を合計した件数

(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成25年度	-	-	-	-	135 (100.0%)
平成26年度	57 (33.3%)	86 (50.3%)	8 (4.7%)	20 (11.7%)	171 (100.0%)
平成27年度	86 (41.7%)	92 (44.7%)	14 (6.8%)	14 (6.8%)	206 (100.0%)
平成28年度	79 (27.1%)	95 (32.5%)	101 (34.6%)	17 (5.8%)	292 (100.0%)

1.2 同一建物居住者以外の看取り件数は、平成28年度何件ありましたか。(n=35)

同一建物住居者以外の看取り件数 平成26~28年年度の比較

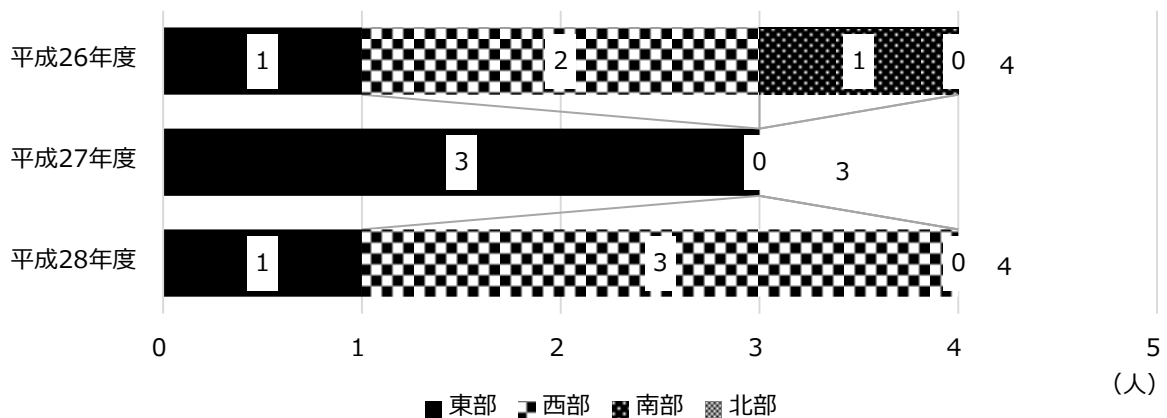


(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成26年度	32 (33.3%)	50 (52.1%)	5 (5.2%)	9 (9.4%)	96 (100.0%)
平成27年度	44 (41.9%)	49 (46.7%)	8 (7.6%)	4 (3.8%)	105 (100.0%)
平成28年度	33 (23.9%)	43 (31.2%)	61 (44.2%)	1 (0.7%)	138 (100.0%)

1.3 同一建物居住者以外の看取りのうち、独居数は平成28年度何件ありましたか。(n=35)

同一建物居住者以外の看取りのうち独居数 平成26~28年年度の比較

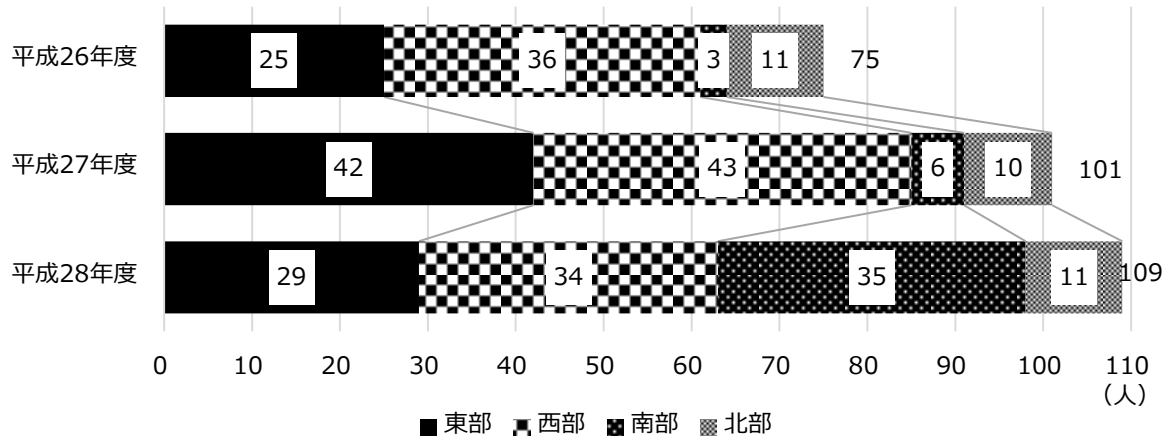


(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成26年度	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
平成27年度	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
平成28年度	1 (25.0%)	3 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)

1.4 同一建物居住者の看取り件数は、平成28年度何件ありましたか。(n=35)

同一建物居住者の看取り件数 平成26～28年度の比較



(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成26年度	25 (33.3%)	36 (48.0%)	3 (4.0%)	11 (14.7%)	75 (100.0%)
平成27年度	42 (41.6%)	43 (42.6%)	6 (5.9%)	10 (9.9%)	101 (100.0%)
平成28年度	29 (26.6%)	34 (31.2%)	35 (32.1%)	11 (10.1%)	109 (100.0%)

1.5 平成28年度の看取りのうち、検死は何人いましたか。(n=35)

検死件数 平成27、28年度の比較

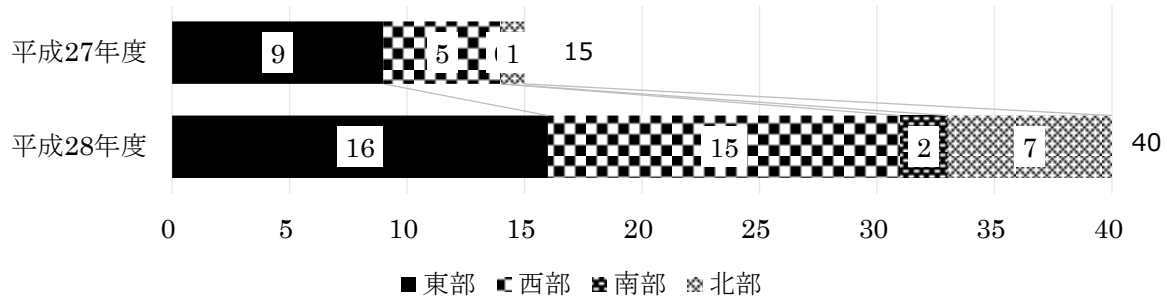
(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)
平成28年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)

16 訪問診療（往診）を実施した患者のうち、直前（死亡1週間前）まで在宅医療を提供

されていたが、最期は病院での看取りとなった人は何人いましたか。(n=35)

最期は病院の看取りとなった件数 平成27、28年度の比較

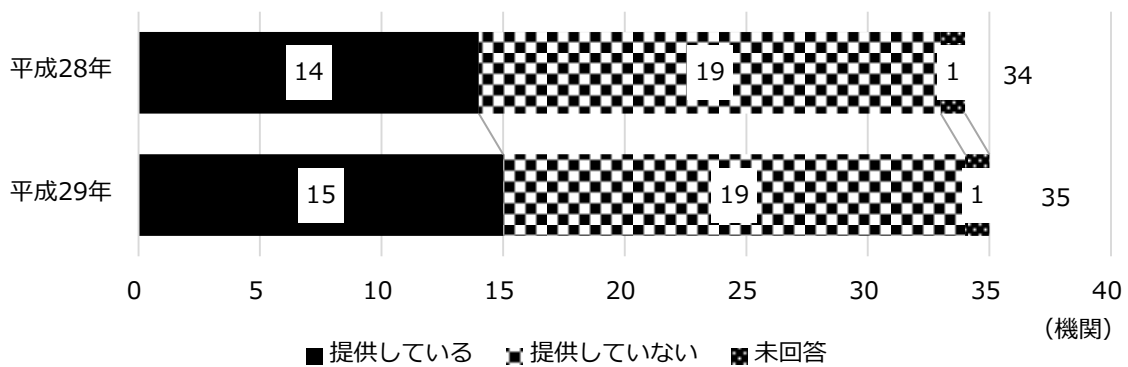


(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	9 (60.0%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	15 (100.0%)
平成28年度	16 (40.0%)	15 (37.5%)	2 (5.0%)	7 (17.5%)	40 (100.0%)

17 緩和ケアを提供していますか。(n=35)

緩和ケアの提供 平成28、29年の比較



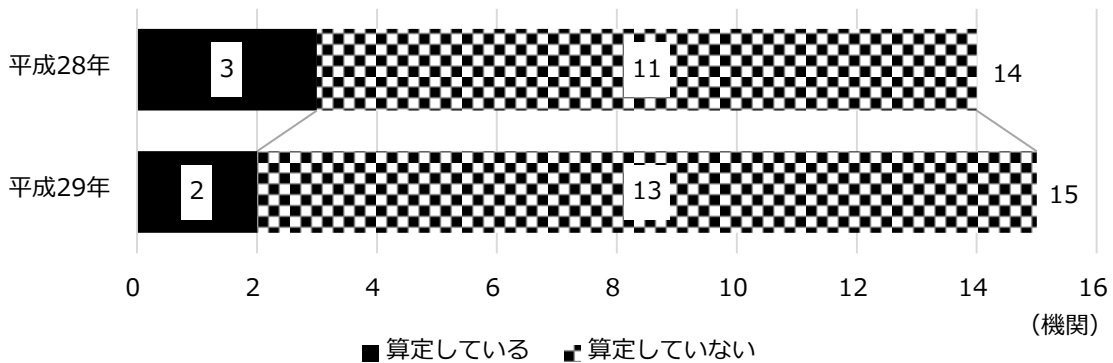
(機関)

(機関)

	平成28年	平成29年
提供している	14 (41.2%)	15 (42.9%)
提供していない	19 (55.9%)	19 (54.3%)
未回答	1 (2.9%)	1 (2.9%)
合計	34 (100.0%)	35 (100.0%)

18 在宅緩和ケア充実診療所・病院加算を算定していますか。(n=15)

在宅緩和ケア充実診療所・病院加算 平成28、29年の比較

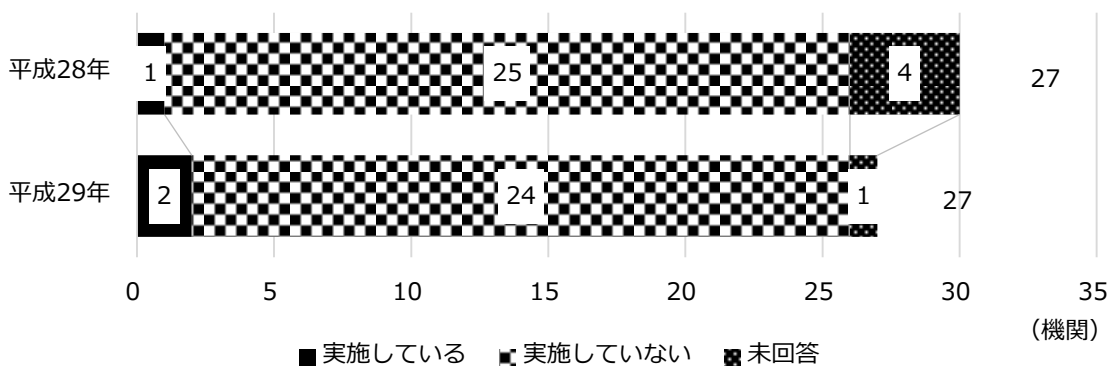


(機関)

	平成28年	平成29年
算定している	3 (21.4%)	2 (13.3%)
算定していない	11 (78.6%)	13 (86.7%)
合計	14 (100.0%)	15 (100.0%)

19 小児在宅医療を提供していますか。(n=35)

小児在宅医療の提供 平成28、29年の比較



(機関)

	平成28年	平成29年
実施している	1 (3.3%)	2 (7.4%)
実施していない	25 (83.3%)	24 (88.9%)
未回答	4 (13.3%)	1 (3.7%)
合計	30 (100.0%)	27 (100.0%)

II-19で「小児在宅医療を実施している」と回答された診療所

20 小児在宅医療を実施した患者数は何人でしたか。(n=2)

小児在宅医療の実施 平成27、28年度の比較

(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
平成28年度	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)

II-19で「実施している」と回答された診療所

21 小児在宅医療を実施した件数は、何件でしたか。(n=2)

小児在宅医療実施件数 平成27、28年度の比較

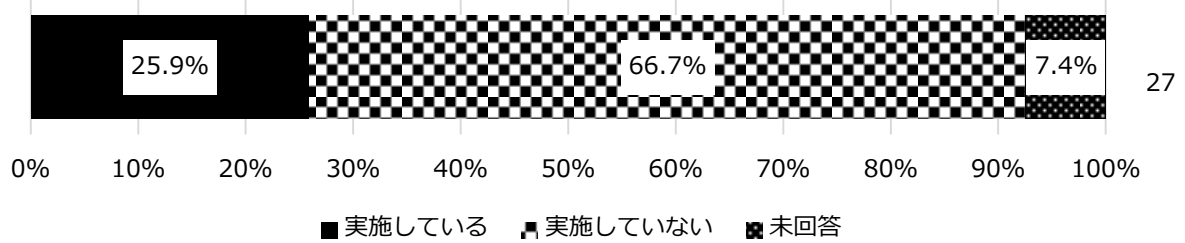
(回)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
平成28年度	0 (0.0%)	20 (83.3%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)	24 (100.0%)

Ⅱ-2で「訪問診療を実施している」「往診を実施している」と回答された診療所

2.2 訪問薬剤管理指導指示書により薬剤師に訪問薬剤管理指導を依頼しましたか。(n=27)

訪問薬剤管理指導依頼の実施 平成 28 年度



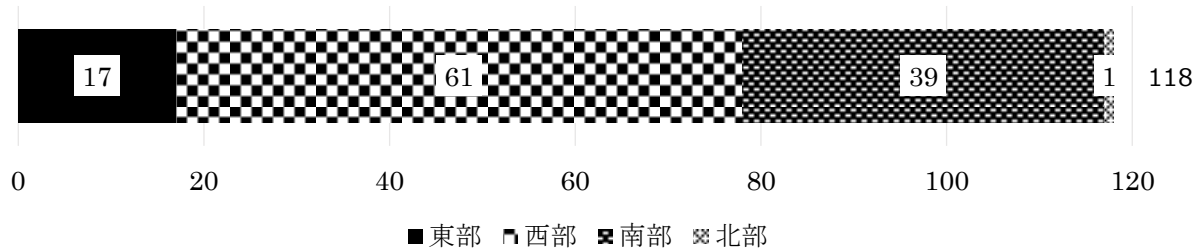
(機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
実施している	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	7 (25.9%)
実施していない	6 (33.3%)	4 (22.2%)	4 (22.2%)	4 (22.2%)	18 (66.7%)
未回答	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)
合計	8 (29.6%)	7 (25.9%)	7 (25.9%)	5 (18.5%)	27 (100.0%)

Ⅱ-2.2で「実施している」と回答された診療所

2.3 薬剤師に訪問薬剤管理指導を依頼した人数は何人でしたか。(実人数) (n=7)

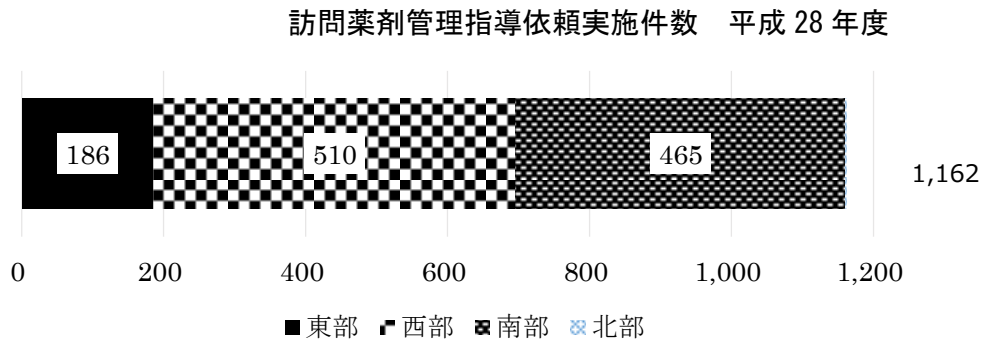
訪問薬剤管理指導依頼の人数 平成 28 年度



(人数)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成28年度	17 (14.4%)	61 (51.7%)	39 (33.1%)	1 (0.8%)	118 (100.0%)

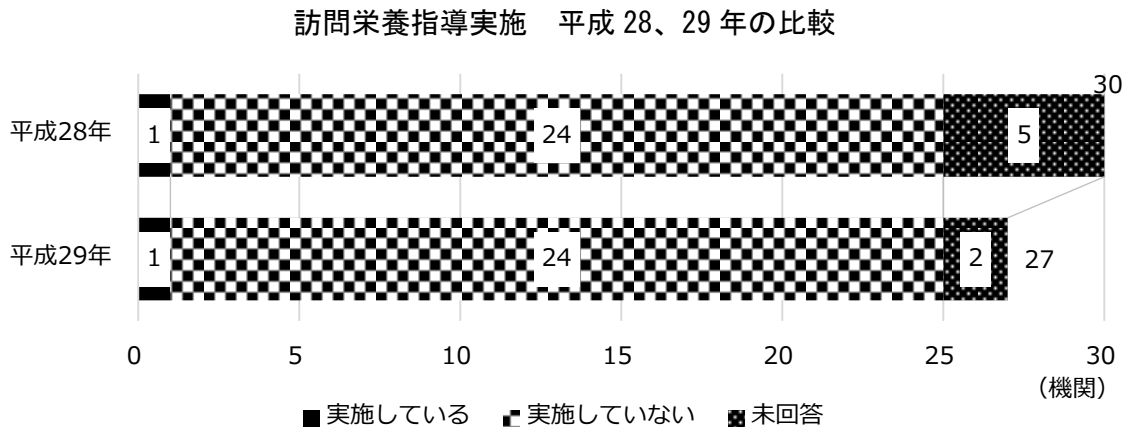
2.4 訪問薬剤管理指導を依頼した件数は、何件ありましたか。(延べ人数) (n=7)



(回)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成28年度	186 (16.0%)	510 (43.9%)	465 (40.0%)	1 (0.1%)	1,162 (100.0%)

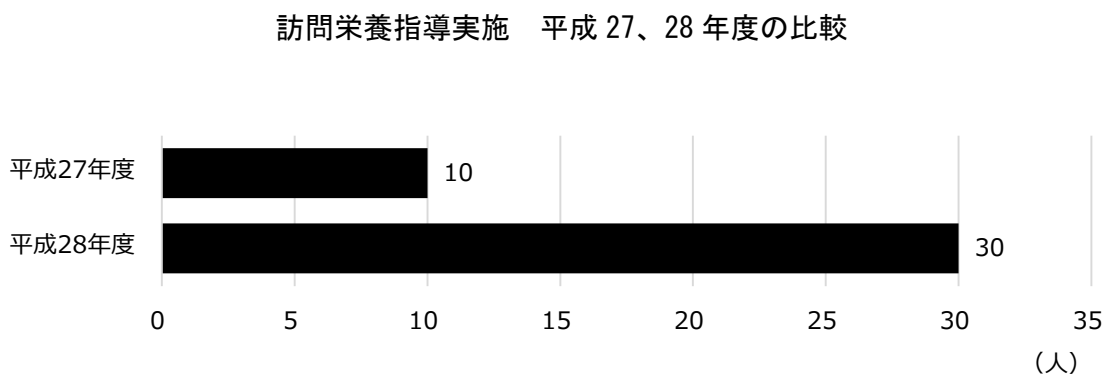
25 管理栄養士による訪問栄養指導を実施していますか。(n=27)



(機関)

	平成28年	平成29年
実施している	1 (3.3%)	1 (3.7%)
実施していない	24 (80.0%)	24 (88.9%)
未回答	5 (16.7%)	2 (7.4%)
合計	30 (100.0%)	27 (100.0%)

26 訪問栄養指導を実施した件数は、何件ありましたか。(n=1)

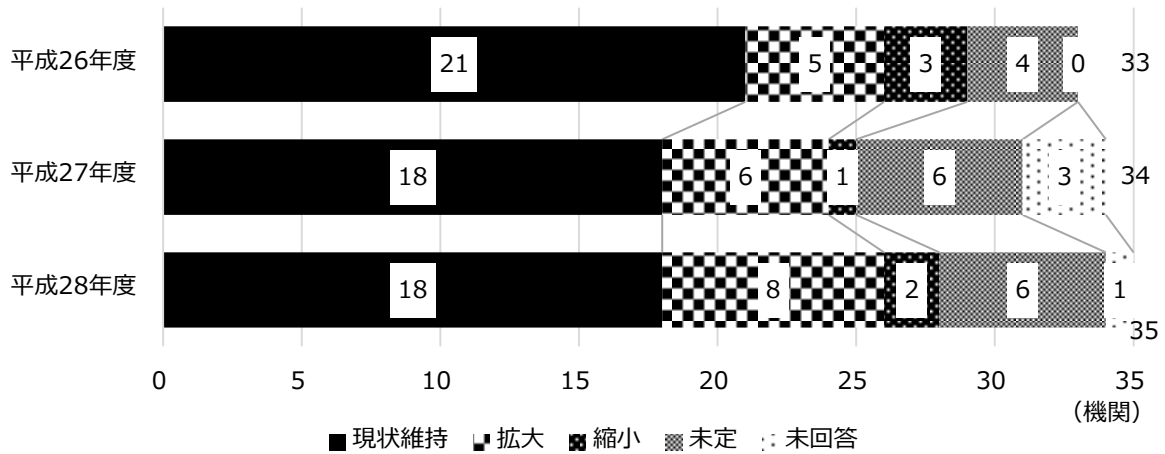


(人)

	東部	西部	南部	北部	合計
平成27年度	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)
平成28年度	30 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30 (100.0%)

2.7 今後の在宅医療の実施予定について、お答えください。(n=35)

今後の在宅医療の実施予定 平成26～28年度の比較



平成28年度 (機関)

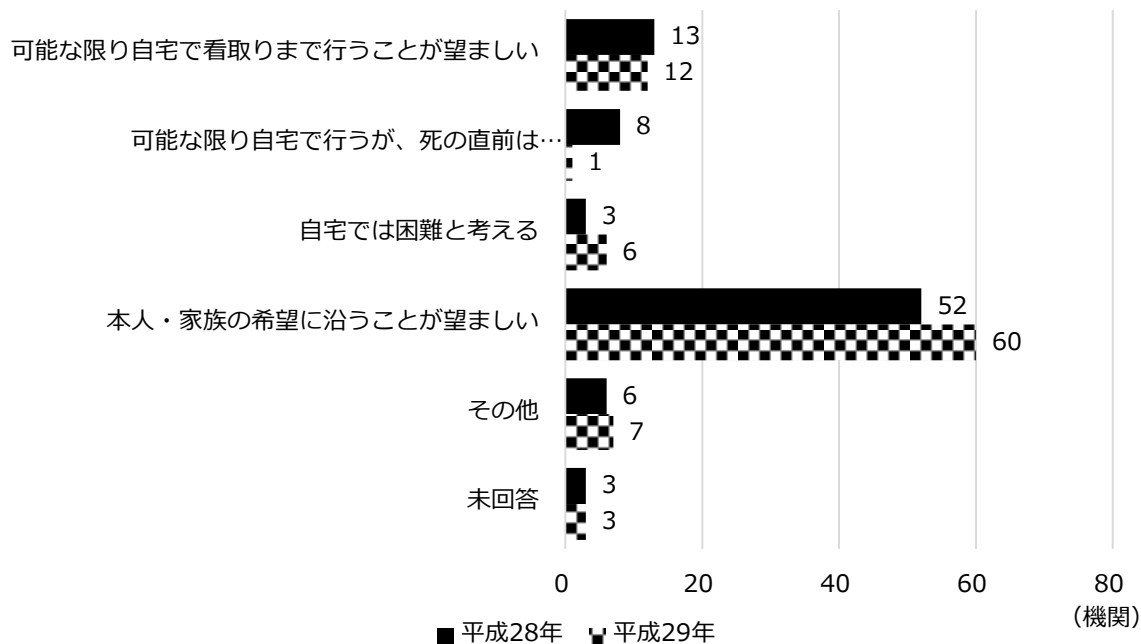
	東部	西部	南部	北部	合計
現状維持	6 (66.7%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)	4 (50.0%)	18 (51.4%)
拡大	2 (22.2%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	1 (12.5%)	8 (22.9%)
縮小	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	2 (5.7%)
未定	1 (11.1%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	6 (17.1%)
未回答	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)
合計	9 (100.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)	8 (100.0%)	35 (100.0%)

(機関)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
現状維持	21 (63.6%)	18 (52.9%)	18 (51.4%)
拡大	5 (15.2%)	6 (17.6%)	8 (22.9%)
縮小	3 (9.1%)	1 (2.9%)	2 (5.7%)
未定	4 (12.1%)	6 (17.6%)	6 (17.1%)
未回答	0 (0.0%)	3 (8.8%)	1 (2.9%)
合計	33 (100.0%)	34 (100.0%)	35 (100.0%)

28 終末期医療を行う場合、どの考え方に近いですか。(n=82)

終末期医療に対する考え方 平成 28、29 年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
可能な限り自宅で看取りまで行うことが望ましい	4 (15.4%)	3 (17.6%)	3 (12.0%)	2 (9.5%)	12 (13.5%)
可能な限り自宅で行うが、死の直前は医療機関で行うことが望ましい	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	1 (1.1%)
自宅では困難と考える	1 (3.8%)	1 (5.9%)	2 (8.0%)	2 (9.5%)	6 (6.7%)
本人・家族の希望に沿うことが望ましい	18 (69.2%)	13 (76.5%)	15 (60.0%)	14 (66.7%)	60 (67.4%)
その他	3 (11.5%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)	2 (9.5%)	7 (7.9%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (12.0%)	0 (0.0%)	3 (3.4%)
合計	26 (100.0%)	17 (100.0%)	25 (100.0%)	21 (100.0%)	89 (100.0%)

(機関)

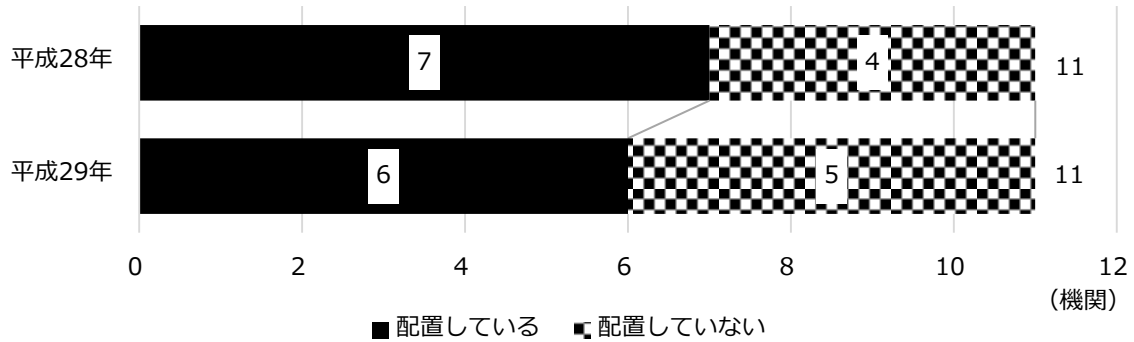
	平成28年	平成29年
可能な限り自宅で看取りまで行うことが望ましい	13 (15.3%)	12 (13.5%)
可能な限り自宅で行うが、死の直前は医療機関で行うことが望ましい	8 (9.4%)	1 (1.1%)
自宅では困難と考える	3 (3.5%)	6 (6.7%)
本人・家族の希望に沿うことが望ましい	52 (61.2%)	60 (67.4%)
その他	6 (7.1%)	7 (7.9%)
未回答	3 (3.5%)	3 (3.4%)
合計	85 (100.0%)	89 (100.0%)

- ◆ 家族全ての不安を取り除くことが大事。
 - ◆ ケースにより異なる。
 - ◆ 個人的には1であり、看取りを含めて説明、話し合うが最終的には4を尊重する。
 - ◆ 分からない。
 - ◆ 状況によって判断する。
- ※ 本設問は、単一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

Ⅲ 高齢者の在宅療養移行支援の取組みについて
病院

1 退院支援担当者を配置していますか。(n=11) しんあい医療療育センター除く

退院支援担当者の配置 平成 28、29 年の比較



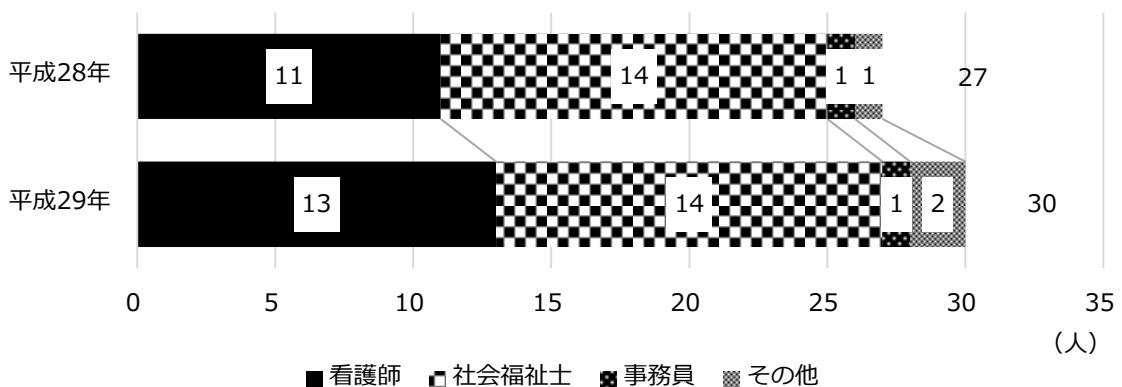
(機関)

	平成28年	平成29年
配置している	7 (63.6%)	6 (54.5%)
配置していない	4 (36.4%)	5 (45.5%)
合計	11 (100.0%)	11 (100.0%)

Ⅲ-1で「配置している」と回答された病院

2 退院支援担当者の職種は何ですか。(n=6)

退院支援担当者の職種



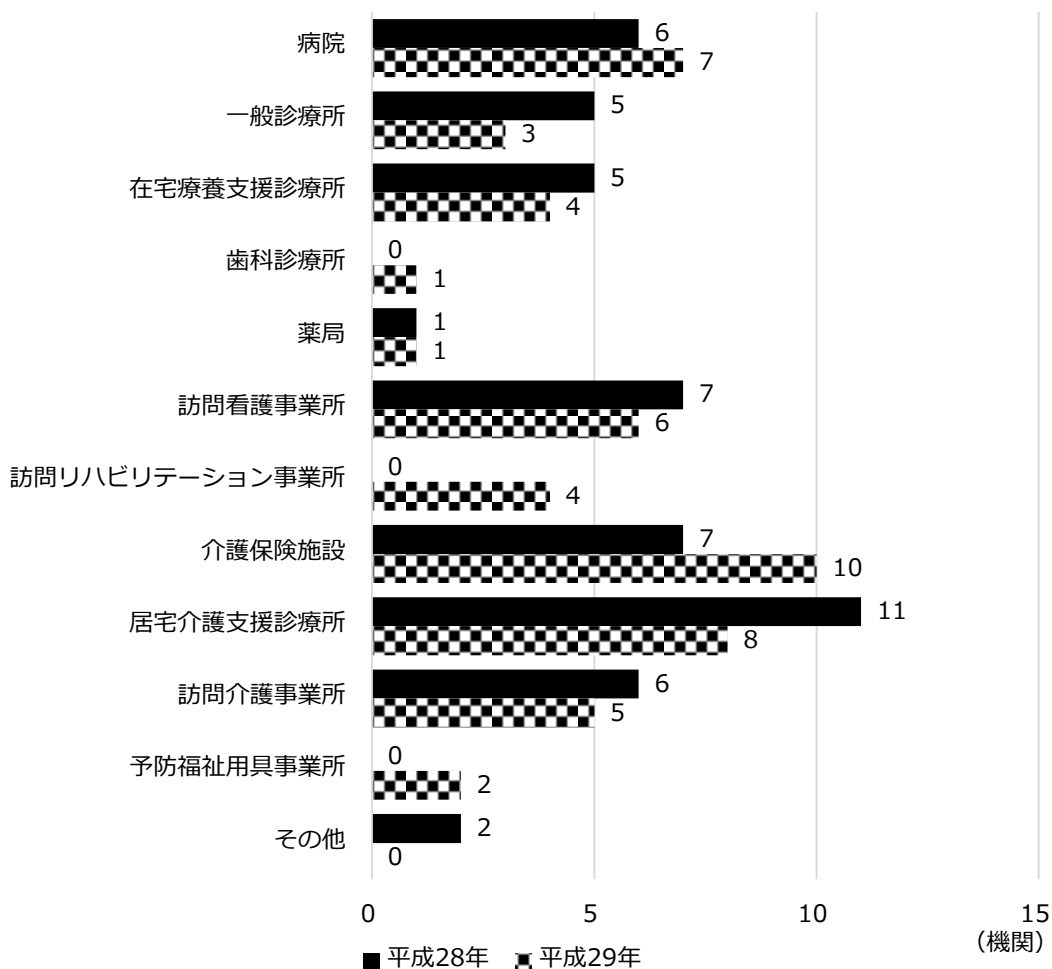
(人)

	平成28年	平成29年
看護師	11 (40.7%)	13 (43.3%)
社会福祉士	14 (51.9%)	14 (46.7%)
事務員	1 (3.7%)	1 (3.3%)
その他	1 (3.7%)	2 (6.7%)
合計	27 (100.0%)	30 (100.0%)



3 連携して退院調整を行ったことがある機関はどこですか。(複数回答可) (n=11)

連携して退院調整を行ったことがある機関 平成 28、29 年度の比較

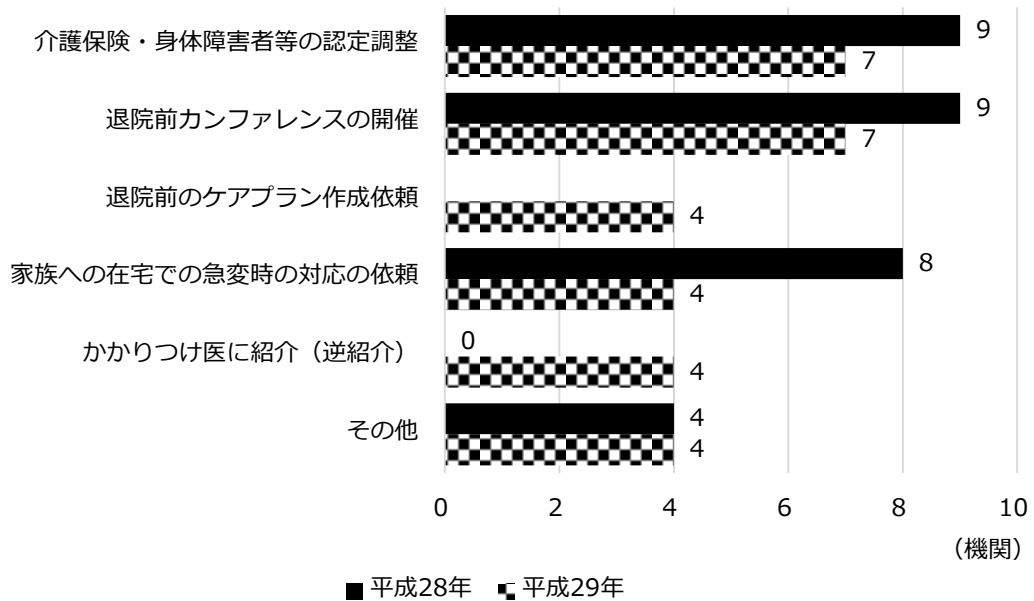


(機関)

	平成28年	平成29年
病院	6 (12.0%)	7 (13.7%)
一般診療所	5 (10.0%)	3 (5.9%)
在宅療養支援診療所	5 (10.0%)	4 (7.8%)
歯科診療所	0 (0.0%)	1 (2.0%)
薬局	1 (2.0%)	1 (2.0%)
訪問看護事業所	7 (14.0%)	6 (11.8%)
訪問リハビリテーション事業所	0 (0.0%)	4 (7.8%)
介護保険施設	7 (14.0%)	10 (19.6%)
居宅介護支援診療所	11 (22.0%)	8 (15.7%)
訪問介護事業所	6 (12.0%)	5 (9.8%)
予防福祉用具事業所	0 (0.0%)	2 (3.9%)
その他	2 (4.0%)	0 (0.0%)
合計	50 (100.0%)	51 (100.0%)

4 退院調整として行っていることをお答えください。(複数回答可) (n=11)

退院調整の項目 平成 28、29 年の比較



平成29年 (機関)

	平成29年				合計
	東部	西部	南部	北部	
介護保険・身体障害者等の認定調整	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	3 (21.4%)	7 (23.3%)
退院前カンファレンスの開催	1 (25.0%)	2 (40.0%)	1 (14.3%)	3 (21.4%)	7 (23.3%)
退院前のケアプラン作成依頼	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (14.3%)	2 (14.3%)	4 (14.5%)
家族への在宅での急変時の対応の依頼	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (14.3%)	2 (14.3%)	4 (13.3%)
かかりつけ医に紹介 (逆紹介)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (14.3%)	4 (13.3%)
その他	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (14.3%)	2 (14.3%)	4 (13.3%)
合計	4 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	14 (100.0%)	30 (100.0%)

(機関)

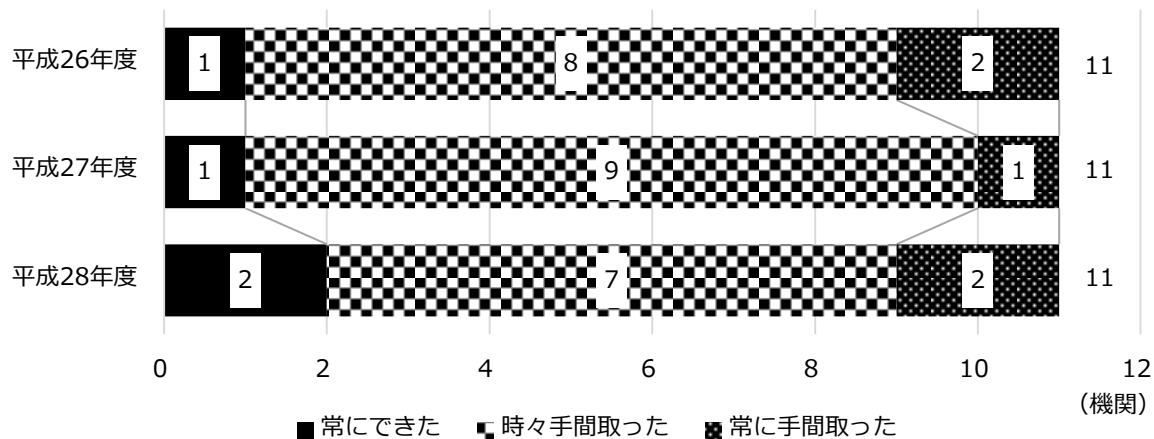
	平成28年	平成29年
介護保険・身体障害者等の認定調整	9 (30.0%)	7 (23.3%)
退院前カンファレンスの開催	9 (30.0%)	7 (23.3%)
退院前のケアプラン作成依頼		4 (13.3%)
家族への在宅での急変時の対応の依頼	8 (26.7%)	4 (13.3%)
かかりつけ医に紹介 (逆紹介)	0 (0.0%)	4 (13.3%)
その他	4 (13.3%)	4 (13.3%)
合計	30 (100.0%)	30 (100.0%)

「退院前カンファレンスを開催している」と回答された医療機関の回数

◆97回 ◆ 347回

5 転院となる場合、転院先はすぐに手配できましたか。(n=11)

転院先の手配 平成26~28年度の比較



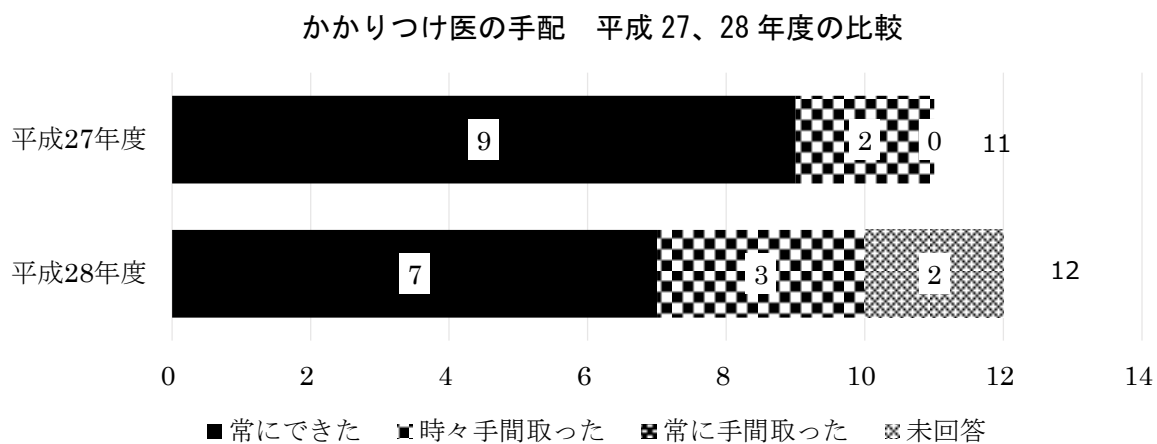
平成28年度 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
常にできた	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)
時々手間取った	1 (50.0%)	2 (100.0%)	1 (25.0%)	3 (100.0%)	7 (63.6%)
常に手間取った	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)
合計	2 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (100.0%)	11 (100.0%)

(機関)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
常にできた	1 (9.1%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)
時々手間取った	8 (72.7%)	9 (81.8%)	7 (63.6%)
常に手間取った	2 (18.2%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)
合計	11 (100.0%)	11 (100.0%)	11 (100.0%)

6 紹介元のかかりつけ医に戻る場合、スムーズに手配できましたか。(n=12)



平成28年度 (機関)

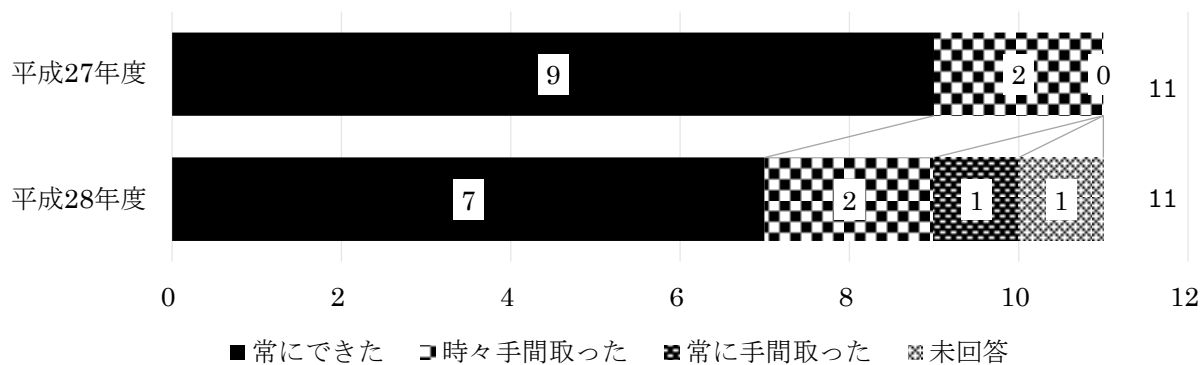
	東部	西部	南部	北部	合計
常にできた	2 (66.7%)	1 (50.0%)	2 (50.0%)	2 (66.7%)	7 (58.3%)
時々手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (33.3%)	3 (25.0%)
常に手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
未回答	1 (33.3%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)
合計	3 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (100.0%)	12 (100.0%)

(機関)

	平成27年度	平成28年度
常にできた	9 (81.8%)	7 (58.3%)
時々手間取った	2 (18.2%)	3 (25.0%)
常に手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)
未回答	0 (0.0%)	2 (16.7%)
合計	11 (100.0%)	12 (100.0%)

7 在宅医の通院治療を受ける場合、通院先はすぐに見つけられましたか。(n=11)

在宅医の通院先 平成27、28年度の比較



平成28年度 (機関)

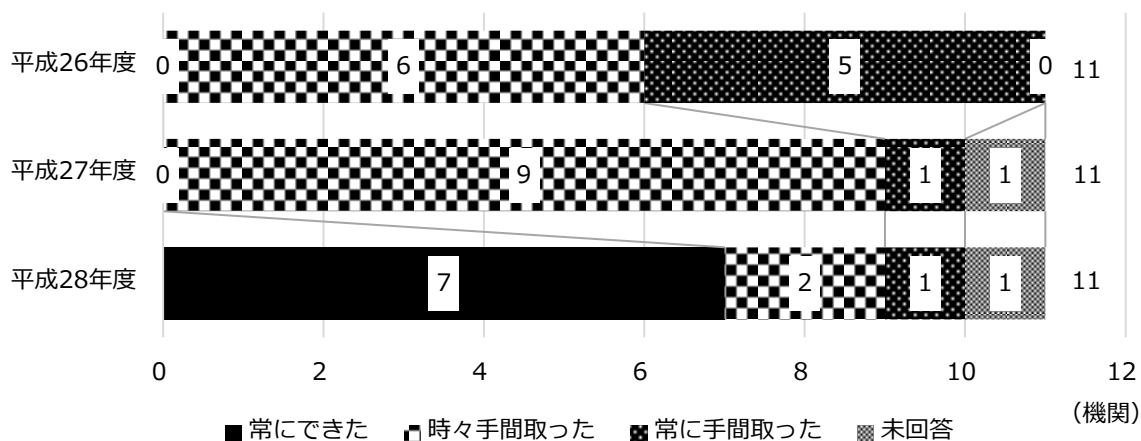
	東部	西部	南部	北部	合計
常にできた	1 (33.3%)	2 (100.0%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	7 (63.6%)
時々手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	2 (18.2%)
常に手間取った	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
未回答	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
合計	3 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	11 (100.0%)

(機関)

	平成27年度	平成28年度
常にできた	9 (81.8%)	7 (63.6%)
時々手間取った	2 (18.2%)	2 (18.2%)
常に手間取った	0 (0.0%)	1 (9.1%)
未回答	0 (0.0%)	1 (9.1%)
合計	11 (100.0%)	11 (100.0%)

8 施設等への入所となる場合、入所先はすぐに手配できましたか。(n=11)

施設等入所先の手配 平成26～28年度の比較



平成28年度 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
常にできた	1 (50.0%)	2 (100.0%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	7 (63.6%)
時々手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	2 (18.2%)
常に手間取った	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
合計	2 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	11 (100.0%)

(機関)

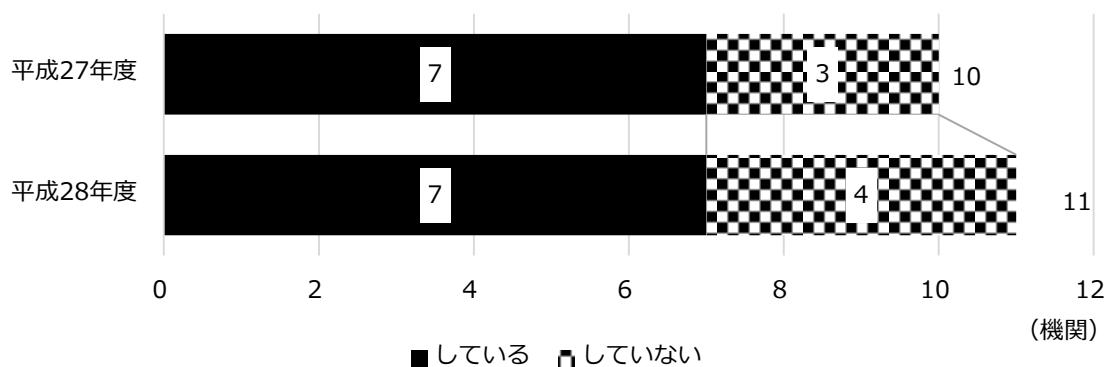
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
常にできた	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (63.6%)
時々手間取った	6 (54.5%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)
常に手間取った	5 (45.5%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)
未回答	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)
合計	11 (100.0%)	11 (100.0%)	11 (100.0%)

IV 後方支援病床の確保について

病院

1 緊急時に後方支援病院として在宅患者の受け入れをしていますか。(n=11)

在宅患者の受け入れ 平成 27、28 年度の比較



平成28年度 (機関)					
	東部	西部	南部	北部	合計
している	2 (66.7%)	2 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (1.0%)	7 (63.6%)
していない	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	4 (36.4%)
合計	3 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	11 (100.0%)

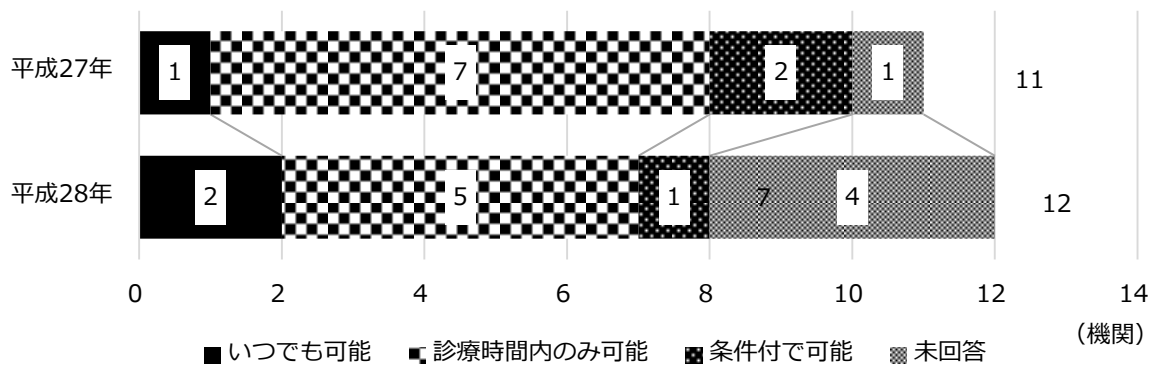
(機関)		
	平成27年度	平成28年度
している	7 (70.0%)	7 (63.6%)
していない	3 (30.0%)	4 (36.4%)
合計	10 (100.0%)	11 (100.0%)

「受け入れをしている」と回答した医療機関の回数

◆0回 ◆1回 ◆63回 ◆集計困難 (参考) 平成 28 年度紹介患者総数 16,163 名

2 在宅患者の救急受入時間についてお答えください。(複数回答可) (n=7)

在宅患者の救急受入時間 平成27、28年度の比較



平成28年度 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
いつでも可能	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (33.3%)	2 (16.7%)
診療時間内のみ可能	2 (66.7%)	2 (100.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	5 (41.7%)
条件付で可能	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)
未回答	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (66.7%)	4 (33.3%)
合計	3 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (100.0%)	12 (100.0%)

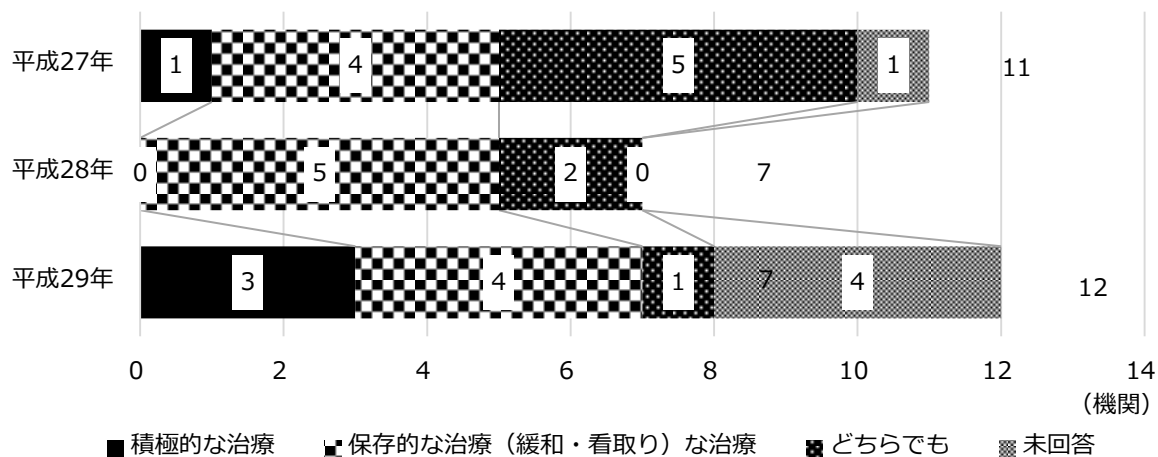
(機関)

	平成27年	平成28年
いつでも可能	1 (9.1%)	2 (16.7%)
診療時間内のみ可能	7 (63.6%)	5 (41.7%)
条件付で可能	2 (18.2%)	1 (8.3%)
未回答	1 (9.1%)	4 (33.3%)
合計	11 (100.0%)	12 (100.0%)

「できる」と回答した医療機関の自由意見
◆対応する医師がいれば

3 在宅患者の救急受入治療レベルをお答えください。(n=12)

在宅患者の救急受入治療レベル 平成27~29年度の比較



平成29年 (機関)

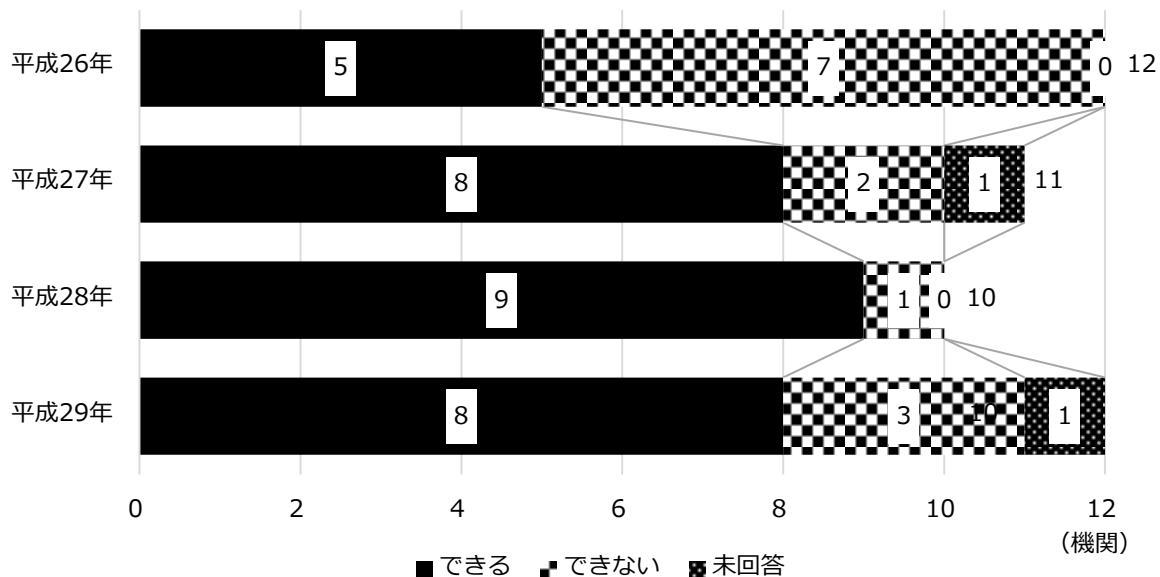
	東部	西部	南部	北部	合計
積極的な治療	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (24.3%)
保存的な治療（緩和・看取り）な治療	1 (33.3%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (32.4%)
どちらでも	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.8%)
未回答	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	4 (32.4%)
合計	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	12 (100.0%)

(機関)

	平成27年	平成28年	平成29年
積極的な治療	1 (9.1%)	0 (0.0%)	3 (25.0%)
保存的な治療（緩和・看取り）な治療	4 (36.4%)	5 (71.4%)	4 (33.3%)
どちらでも	5 (45.5%)	2 (28.6%)	1 (8.3%)
未回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)	4 (33.3%)
合計	11 (100.0%)	7 (100.0%)	12 (100.0%)

4 空床があれば、レスパイト機能としての病床利用ができますか。(n=12)

レスパイト機能としての病床利用 平成26～29年の比較



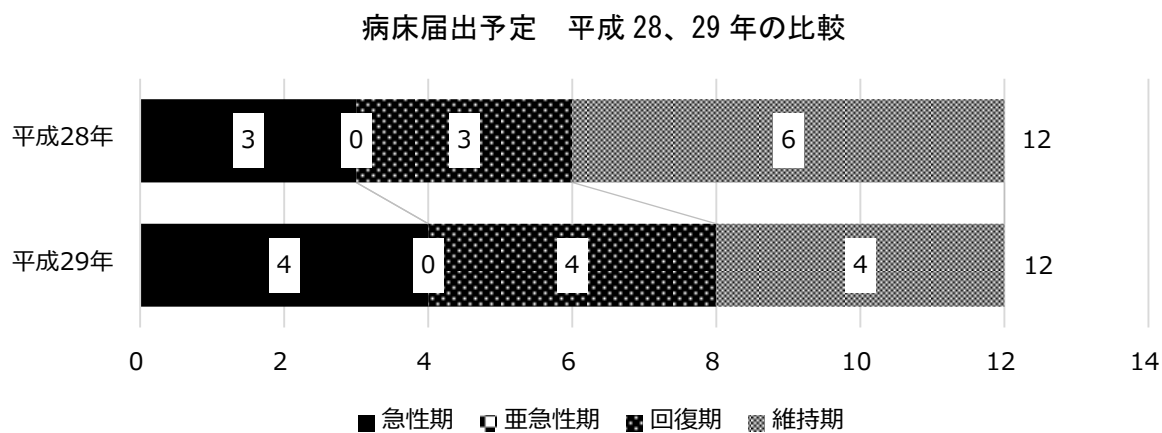
平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
できる	2 (66.7%)	1 (50.0%)	4 (100.0%)	1 (33.3%)	8 (66.7%)
できない	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (25.0%)
未回答	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)
合計	3 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (100.0%)	12 (100.0%)

(機関)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
できる	5 (41.7%)	8 (72.7%)	9 (90.0%)	8 (66.7%)
できない	7 (58.3%)	2 (18.2%)	1 (10.0%)	3 (25.0%)
未回答	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)
合計	12 (100.0%)	11 (100.0%)	10 (100.0%)	12 (100.0%)

5 今後の病床の届出予定についてお答えください。(n=9)



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
急性期	1 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	1 (25.0%)	4 (33.3%)
亜急性期	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回復期	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (20.0%)	2 (50.0%)	4 (33.3%)
維持期	0 (0.0%)	1 (50.0%)	2 (40.0%)	1 (25.0%)	4 (33.3%)
合計	1 (100.0%)	2 (100.0%)	5 (100.0%)	4 (100.0%)	12 (100.0%)

(機関)

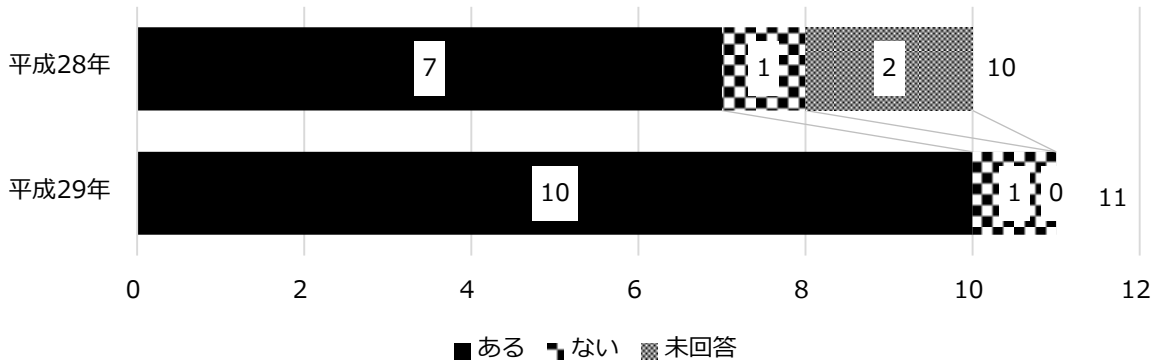
	平成28年	平成29年
急性期	3 (25.0%)	4 (33.3%)
亜急性期	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回復期	3 (25.0%)	4 (33.3%)
維持期	6 (50.0%)	4 (33.3%)
合計	12 (100.0%)	12 (100.0%)

※ 本設問は、単一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

6 今後、在宅療養後方支援病院としてバックベッドの確保が必要になります。急性期病院に入院するまでもないが、在宅では治療が困難な患者さんの入院が可能なシステムを構築したいと思っています。

このシステムに参加の意思がありますか。(n=11) 市民病院を除く

在宅では治療が困難な患者さんの入院可能なシステムへの参加の意思 平成 28、29 年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
ある	2 (66.7%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	2 (100.0%)	10 (90.9%)
ない	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	2 (100.0%)	11 (100.0%)

(機関)

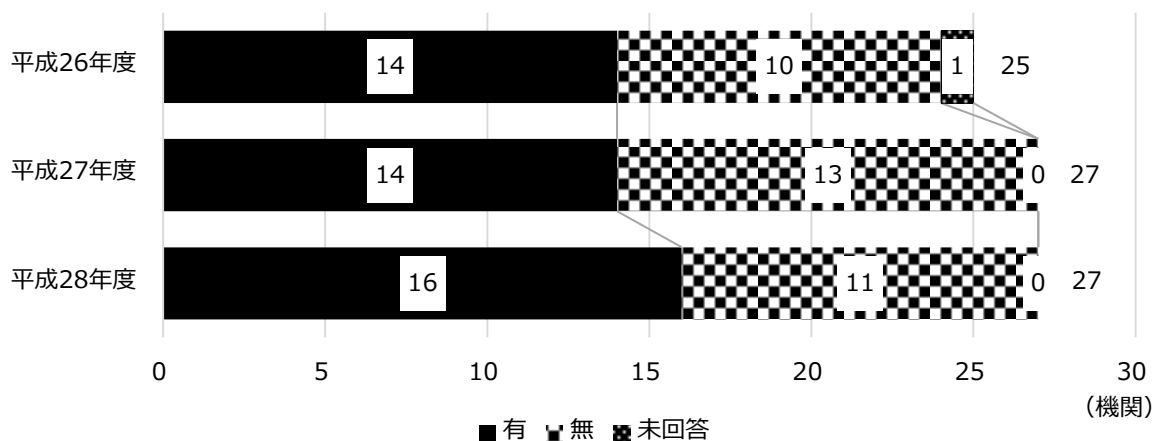
	平成28年	平成29年
ある	7 (70.0%)	10 (90.9%)
ない	1 (10.0%)	1 (9.1%)
未回答	2 (20.0%)	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)	11 (100.0%)

診療所

Ⅱ-2で「訪問診療をしている」「往診をしている」と回答された診療所

7 急性疾患の発生や急性増悪により、在宅患者を救急搬送したことはありますか。(n=27)

在宅患者の救急搬送 平成26～28年度の比較



平成28年度 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
有	7 (87.5%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	3 (60.0%)	16 (59.3%)
無	1 (12.5%)	4 (57.1%)	4 (57.1%)	2 (40.0%)	11 (40.7%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	8 (100.0%)	7 (100.0%)	7 (100.0%)	5 (100.0%)	27 (100.0%)

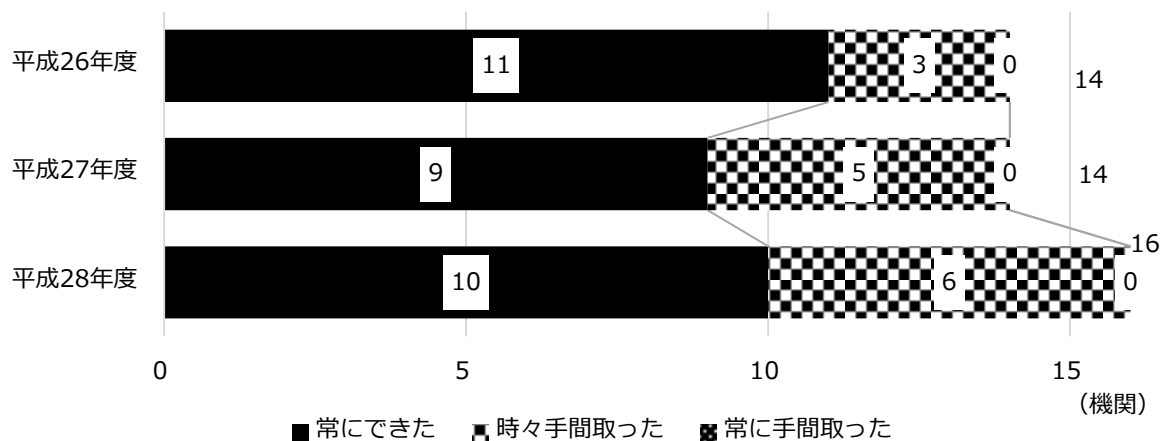
(機関)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
有	14 (56.0%)	14 (51.9%)	16 (59.3%)
無	10 (40.0%)	13 (48.1%)	11 (40.7%)
未回答	1 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	25 (100.0%)	27 (100.0%)	27 (100.0%)



8 救急搬送先はすぐに手配できましたか。(n=16)

救急搬送の手配 平成26～28年度の比較



平成28年度 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
常にできた	4 (57.1%)	3 (100.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	10 (62.5%)
時々手間取った	3 (42.9%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	6 (37.5%)
常に手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	7 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	16 (100.0%)

(機関)

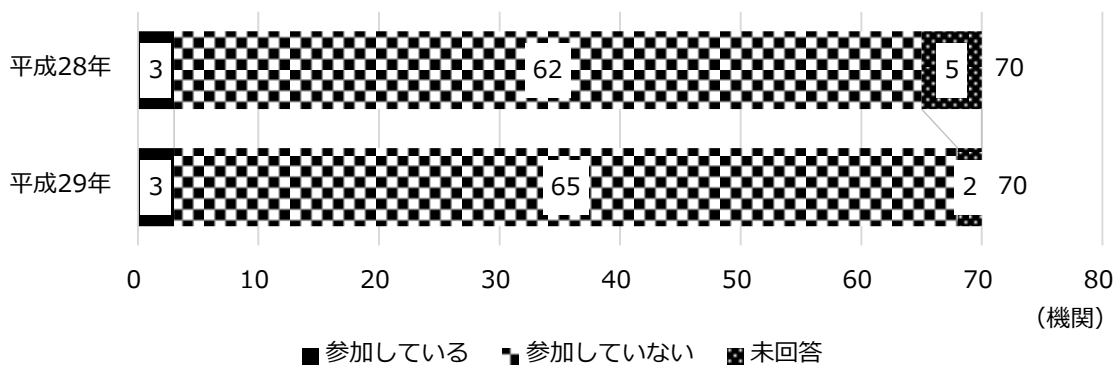
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
常にできた	11 (78.6%)	9 (64.3%)	10 (62.5%)
時々手間取った	3 (21.4%)	5 (35.7%)	6 (37.5%)
常に手間取った	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	14 (100.0%)	14 (100.0%)	16 (100.0%)

V 地域包括ケアについて

診療所

1 病院が実施する退院前カンファレンスに参加していますか。(n=70)

退院前カンファレンスへの参加 平成 28、29 年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
参加している	1 (5.0%)	1 (6.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	3 (4.3%)
参加していない	19 (95.0%)	14 (93.3%)	16 (88.9%)	16 (94.1%)	65 (92.9%)
未回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	1 (5.9%)	2 (2.9%)
合計	20 (100.0%)	15 (100.0%)	18 (100.0%)	17 (100.0%)	70 (100.0%)

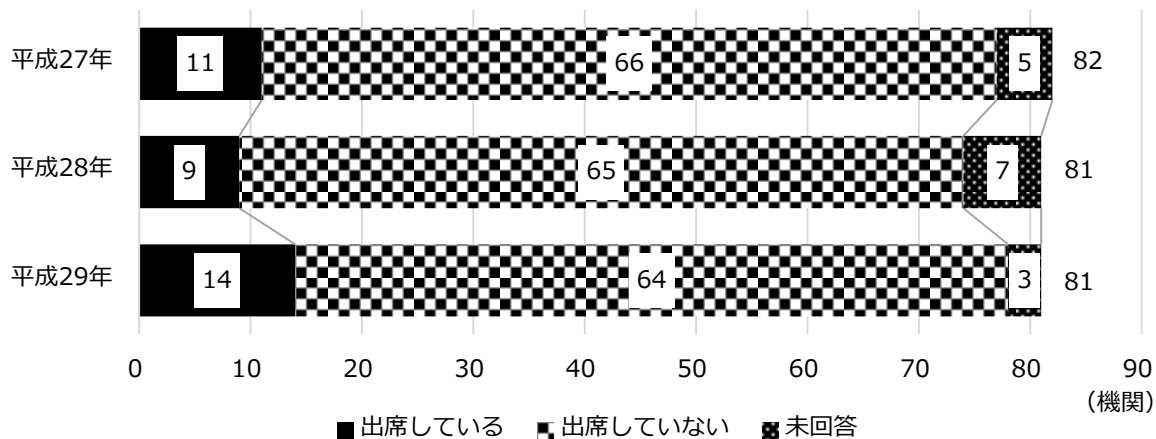
(機関)

	平成28年	平成29年
参加している	3 (4.3%)	3 (4.3%)
参加していない	62 (88.6%)	65 (92.9%)
未回答	5 (7.1%)	2 (2.9%)
合計	70 (100.0%)	70 (100.0%)

退院前カンファレンスに参加している
◆ 55 回

2 サービス担当者会議に主治医として出席していますか。(n=81) しんあい医療療育センターを除く

サービス担当者会議への主治医としての出席 平成27～29年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
出席している	4 (17.4%)	3 (17.6%)	3 (14.3%)	4 (20.0%)	14 (17.3%)
出席していない	18 (78.3%)	14 (82.4%)	17 (81.0%)	15 (75.0%)	64 (79.0%)
未回答	1 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	1 (5.0%)	3 (3.7%)
合計	23 (100.0%)	17 (100.0%)	21 (100.0%)	20 (100.0%)	81 (100.0%)

(機関)

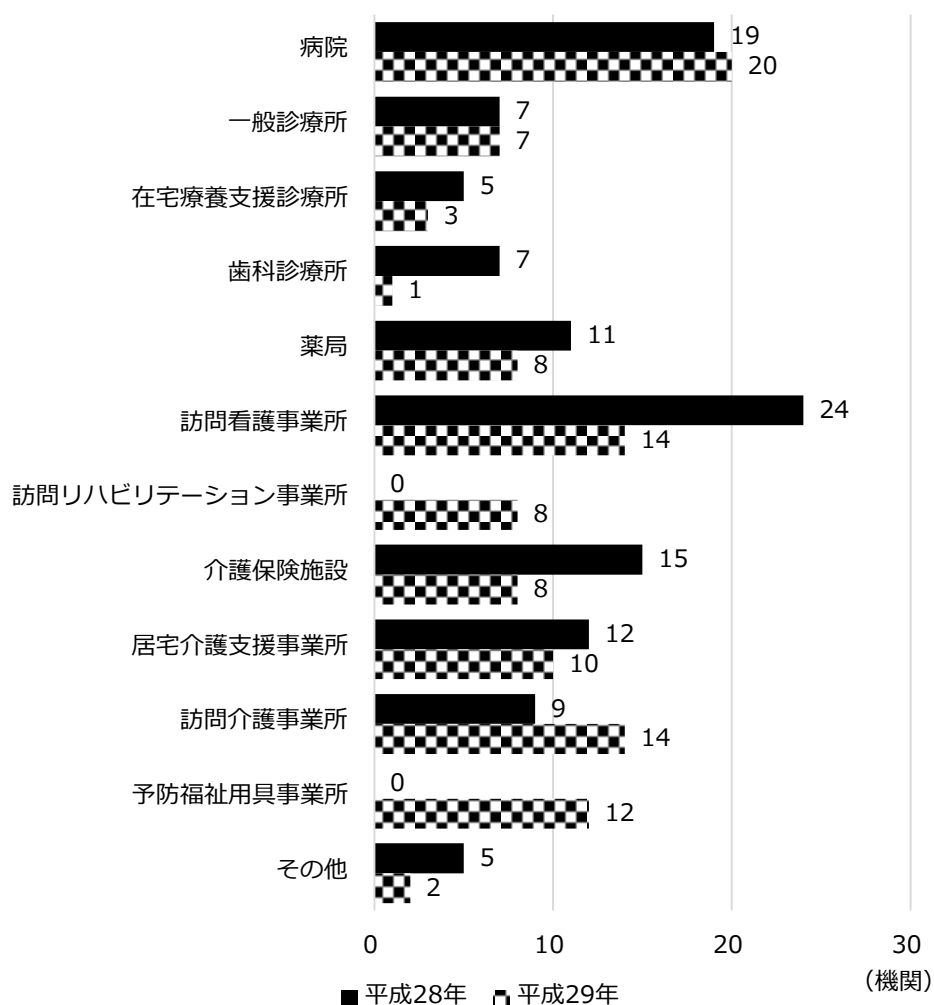
	平成27年	平成28年	平成29年
出席している	11 (13.4%)	9 (11.1%)	14 (17.3%)
出席していない	66 (80.5%)	65 (80.2%)	64 (79.0%)
未回答	5 (6.1%)	7 (8.6%)	3 (3.7%)
合計	82 (100.0%)	81 (100.0%)	81 (100.0%)

サービス担当者会議に参加している

- ◆ 1回
- ◆ 2回
- ◆ 3回
- ◆ 4回
- ◆ 100回
- ◆ 112回
- ◆ 多数 原則出席する
- ◆ 不明

3 連携して支援を行ったことがある機関はどこですか。(複数回答可) (n=70)

連携して支援を行ったことがある機関 平成28、29年の比較



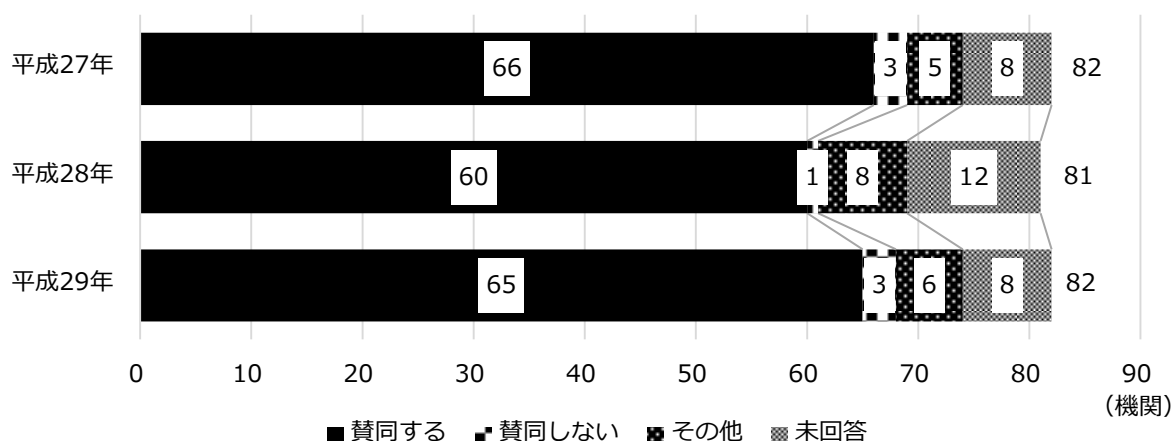
(機関)

	平成28年	平成29年
病院	19 (16.7%)	20 (18.7%)
一般診療所	7 (6.1%)	7 (6.5%)
在宅療養支援診療所	5 (4.4%)	3 (2.8%)
歯科診療所	7 (6.1%)	1 (0.9%)
薬局	11 (9.6%)	8 (7.5%)
訪問看護事業所	24 (21.1%)	14 (13.1%)
訪問リハビリテーション事業所	0 (0.0%)	8 (7.5%)
介護保険施設	15 (13.2%)	8 (7.5%)
居宅介護支援事業所	12 (10.5%)	10 (9.3%)
訪問介護事業所	9 (7.9%)	14 (13.1%)
予防福祉用具事業所	0 (0.0%)	12 (11.2%)
その他	5 (4.4%)	2 (1.9%)
合計	114 (100.0%)	107 (100.0%)

◆ 高齢者住宅
◆ 特別養護老人ホーム

4 包括ケアの医療は「患者の生活を支える」考え方に基づいており、多職種が投薬の介助・見守りをする必要があります。内服を確実にする（多重投与及び飲み忘れなどを防止）ために、投薬の内容や回数をできるだけ簡素化することが望まれます。この考え方についてどう思われますか。(n=82)

投薬の簡素化 平成27～29年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
賛同する	17 (73.9%)	15 (88.2%)	14 (63.6%)	19 (95.0%)	65 (79.3%)
賛同しない	2 (8.7%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.7%)
その他	2 (8.7%)	1 (5.9%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	6 (7.3%)
未回答	2 (8.7%)	0 (0.0%)	5 (22.7%)	1 (5.0%)	8 (9.8%)
合計	23 (100.0%)	17 (100.0%)	22 (100.0%)	20 (100.0%)	82 (100.0%)

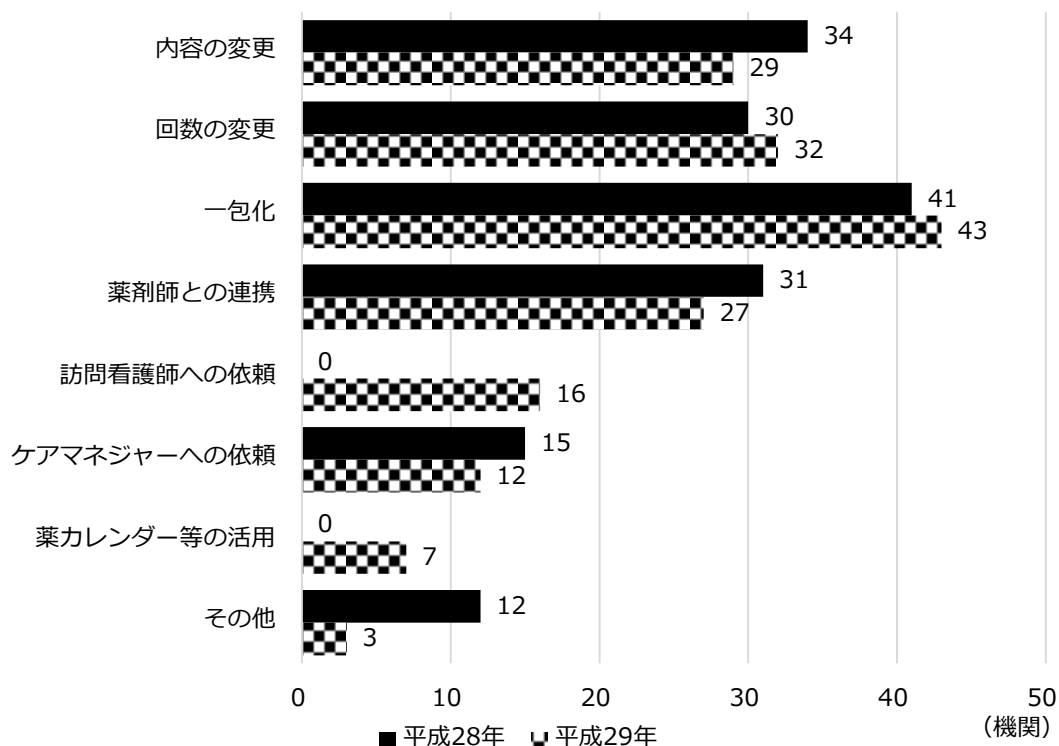
(機関)

	平成27年	平成28年	平成29年
賛同する	66 (80.5%)	60 (74.1%)	65 (79.3%)
賛同しない	3 (3.7%)	1 (1.2%)	3 (3.7%)
その他	5 (6.1%)	8 (9.9%)	6 (7.3%)
未回答	8 (9.8%)	12 (14.8%)	8 (9.8%)
合計	82 (100.0%)	81 (100.0%)	82 (100.0%)

◆ケースバイケース
◆まったく職種が違うため分からない。

5 内服を確実にするために実施していることは何ですか。(複数回答可) (n=65)

内服を確実にするために実施していること 平成 28、29 年の比較



平成29年 (機関)

	東部	西部	南部	北部	合計
内容の変更	6 (15.4%)	7 (17.5%)	6 (17.6%)	10 (17.9%)	29 (17.2%)
回数の変更	8 (20.5%)	8 (20.0%)	5 (14.7%)	11 (19.6%)	32 (18.9%)
一包化	10 (25.6%)	9 (22.5%)	7 (20.6%)	17 (30.4%)	43 (25.4%)
薬剤師との連携	5 (12.8%)	7 (17.5%)	5 (14.7%)	10 (17.9%)	27 (16.0%)
訪問看護師への依頼	3 (7.7%)	5 (12.5%)	6 (17.6%)	2 (3.6%)	16 (9.5%)
ケアマネジャーへの依頼	3 (7.7%)	2 (5.0%)	4 (11.8%)	3 (5.4%)	12 (7.1%)
薬カレンダー等の活用	3 (7.7%)	1 (2.5%)	1 (2.9%)	2 (3.6%)	7 (4.1%)
その他	1 (2.6%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	3 (1.8%)
合計	39 (100.0%)	40 (100.0%)	34 (100.0%)	56 (100.0%)	169 (100.0%)

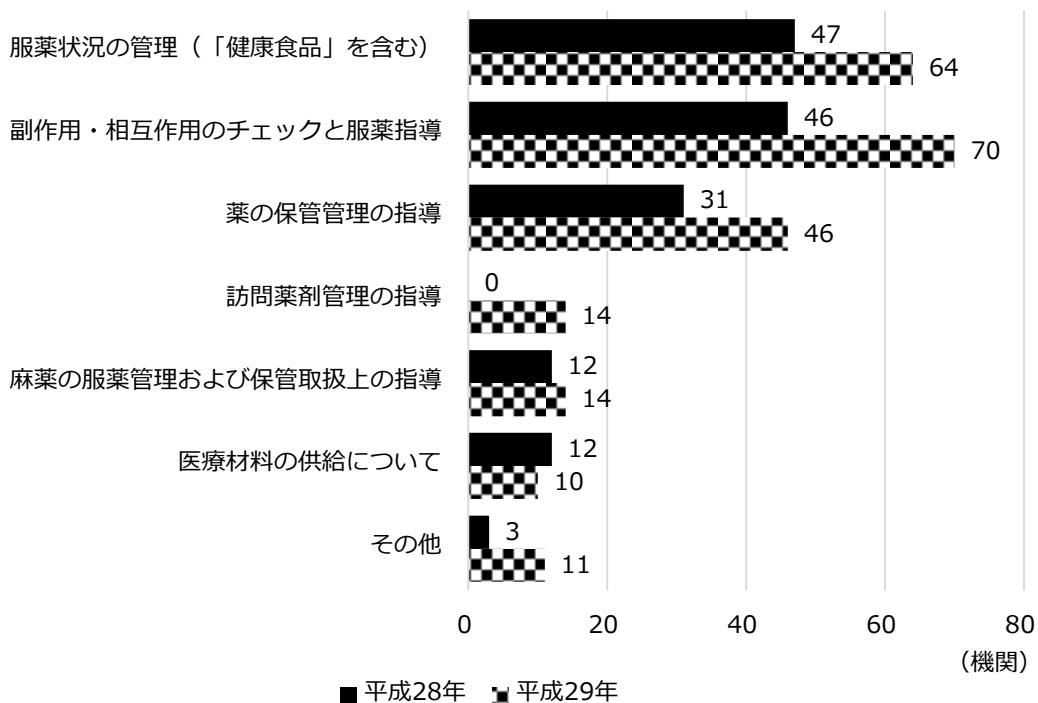
(機関)

	平成28年	平成29年
内容の変更	34 (20.9%)	29 (17.2%)
回数の変更	30 (18.4%)	32 (18.9%)
一包化	41 (25.2%)	43 (25.4%)
薬剤師との連携	31 (19.0%)	27 (16.0%)
訪問看護師への依頼	0 (0.0%)	16 (9.5%)
ケアマネジャーへの依頼	15 (9.2%)	12 (7.1%)
薬カレンダー等の活用	0 (0.0%)	7 (4.1%)
その他	12 (7.4%)	3 (1.8%)
合計	163 (100.0%)	169 (100.0%)

- ◆家族への協力(可能な場合)負担にならない場合であれば
- ◆家族への説明、理解、協力
- ◆薬の種類を減らす
- ◆実施したことがない
- ◆不要なものは処方していないと思う。
- ◆元々処方数を少なくしている。
- ◆特になし

6 院外薬局との連携により充実したい内容は何ですか。(複数回答可) (n=82)

院外薬局との連携により充実したい内容 平成 28、29 年の比較



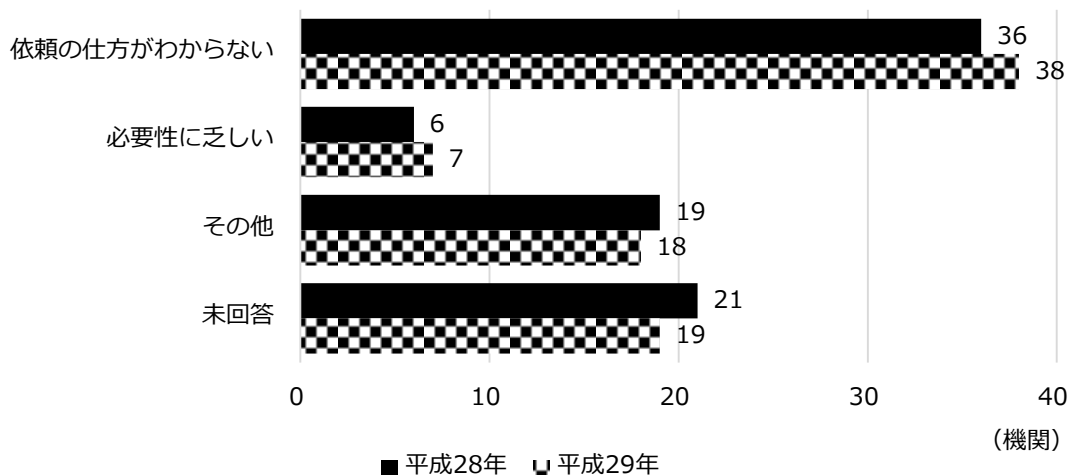
(機関)

	平成28年	平成29年
服薬状況の管理（「健康食品」を含む）	47 (31.1%)	64 (27.9%)
副作用・相互作用のチェックと服薬指導	46 (30.5%)	70 (30.6%)
薬の保管管理の指導	31 (20.5%)	46 (20.1%)
訪問薬剤管理の指導	0 (0.0%)	14 (6.1%)
麻薬の服薬管理および保管取扱上の指導	12 (7.9%)	14 (6.1%)
医療材料の供給について	12 (7.9%)	10 (4.4%)
その他	3 (2.0%)	11 (4.8%)
合計	151 (100.0%)	229 (100.0%)

- ◆服薬状況などで不十分な事柄の報告
- ◆院内処方です
- ◆家人への指導および連携
- ◆かかりつけ薬局の推進

7 地域包括ケアにおいて、嚥下機能をはじめ、口腔ケアは、重要な役割を占めます。しかし、訪問歯科診療や訪問歯科衛生指導の依頼は、十分とはいえません。何が原因と思われますか。

訪問歯科診療・訪問歯科衛生指導の依頼が十分でない原因 平成28、29年の比較



(機関)

	平成28年	平成29年
依頼の仕方がわからない	36 (43.9%)	38 (46.3%)
必要性に乏しい	6 (7.3%)	7 (8.5%)
その他	19 (23.2%)	18 (22.0%)
未回答	21 (25.6%)	19 (23.2%)
合計	82 (100.0%)	82 (100.0%)

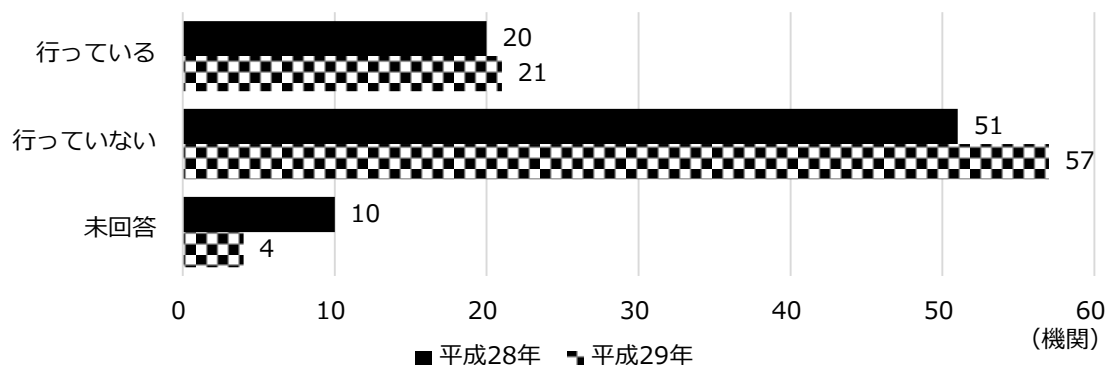
※意見

- ◆ケアマネなど、多職種の口腔ケアに対する知識不足により、口腔ケアの必要性がまだまだ理解されていないのだと思う。例えば、口腔ケアには器質的口腔ケアと機能的口腔ケアがあるということ。等々。
- ◆訪問歯科医のリスト連携の円滑
- ◆歯科医で嚥下指導をしていたことは知らなかった。どこの歯科医が担当している？
- ◆当院ではやっている。
- ◆依頼システム構築が十分でない。
- ◆嚥下機能、口腔ケアをしてくれる歯科医を知らないので不明。
- ◆訪問歯科医療や訪問歯科衛生指導を行う人が少ない。
- ◆情報不足
- ◆不詳
- ◆分からない
- ◆何故でしょう
- ◆判断できない

※ 本設問は、単一回答ですが、複数回答された医療機関に関しても、そのまま集計しています。

8 貴院は、介護施設への協力を行っていますか。(例：定期健診、相談対応など) (n=82)

介護施設への協力 平成 28、29 年の比較

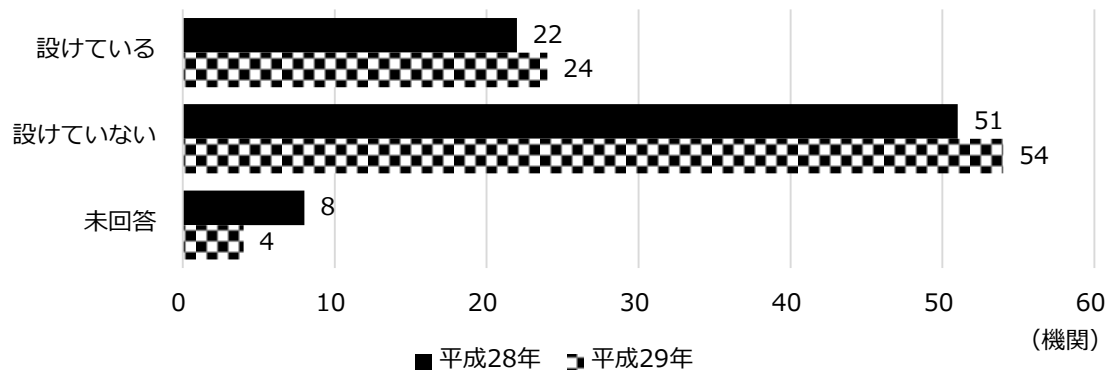


(機関)

	平成28年	平成29年
行っている	20 (24.7%)	21 (25.6%)
行っていない	51 (63.0%)	57 (69.5%)
未回答	10 (12.3%)	4 (4.9%)
合計	81 (100.0%)	82 (100.0%)

9 職員が在宅医療・介護に関する研修に参加する機会を設けていますか。(n=82)

職員の在宅医療・介護に関する研修への参加の機会 平成 28、29 年の比較



(機関)

	平成28年	平成29年
設けている	22 (27.2%)	24 (29.3%)
設けていない	51 (63.0%)	54 (65.9%)
未回答	8 (9.9%)	4 (4.9%)
合計	81 (100.0%)	82 (100.0%)

VI 自由意見

- ◆高齢のため診療特に往診は出来なくなると思いますが、かかりつけの患者さんには出来る限りのことはしたいと考えております。
- ◆サービス担当者会議に出席したくても、時間が診療時間と重なるため出席できないことがある。
- ◆在宅診療、地域包括ケアについての講演要旨や会議録などをわかり易く、豊川医報に連載していただけると、勉強になります。ご検討をお願いいたします。
- ◆届出、連携が大変そうなので往診で対応しています。訪問看護が必要になった時に主治医が交代となっているのがほとんどです。
- ◆平成 29 年度日常生活圏域別多職種協働研修会に参加。(予定)
- ◆問 10 の質問に対しては回答に悩みました。質問の形式を変更していただけたら幸いです。
- ◆退院前カンファレンスについて、夜（例えば 19 時半から 30 分 or 1 時間）に開催するという選択を設けていただくと開業医がもっと参加できると思います。実際、他県では行っている病院があるそうです。